SONY

3-856-784-**03** (1)

ビデオカメラ レコーダー Hi8

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめに 2ページ～

撮る 12ページ～

見る 17ページ～

使いこなす 20ページ～

ご注意など 49ページ～

詳しい目次は7ページにあります。

video Hi8 Handycam

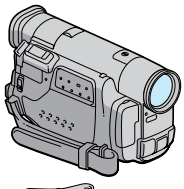
CCD-TR555

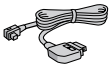
© 1996 by Sony Corporation

とにかく撮って見る

必要なもの

本体

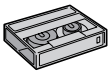




接続コード
（本機に付属）

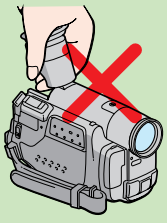
アクセサリーキット
（別売り）
ACパワーアダプター

8ミリビデオカセット
（別売り）



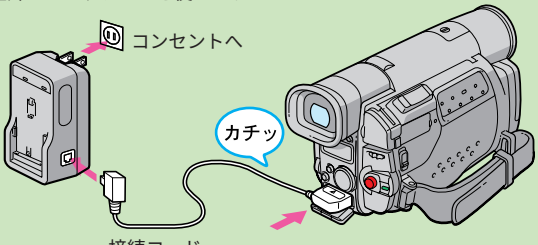
Hi8マークのついたHi8（ハイエイト）テープをおすすめします。

ビューファインダーを持たないでください！

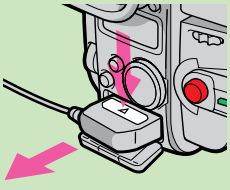


1 電源をつなぐ（42ページ）

屋外ではバッテリーを使います →8ページ

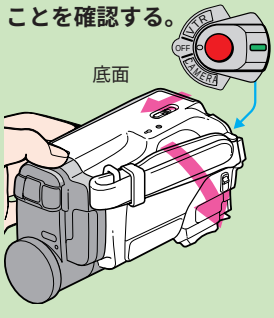


接続プラグをはずすとき
ボタンを押しながら抜く



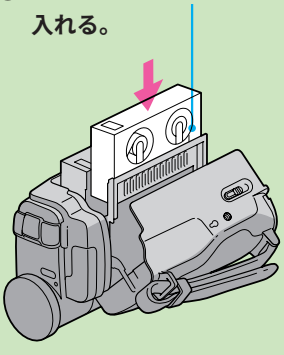
2 カセットを入れる（10ページ）

❶ **電源スイッチが「OFF」になっていることを確認する。**

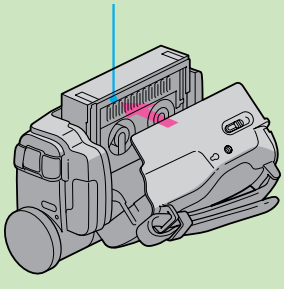


❷ **本体底面のスライドつまみをずらしながらふたを開ける。**

❸ **テープ窓を外側にして入れる。**



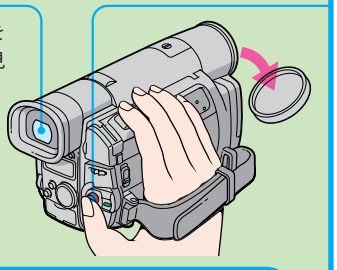
❹ **PUSH/押 マークを押して、カセット入れを閉める。**



❺ **カセットぶたを閉める。**

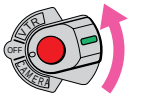
3 撮影する（12ページ）

ファインダー
この部分に目をあてて画像を見ます。



❶ **レンズキャップを取りはずす。**

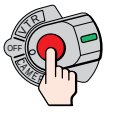
❷ **緑のボタンを押しながら「CAMERA」にする。**



❸ **赤いボタンを押す。**

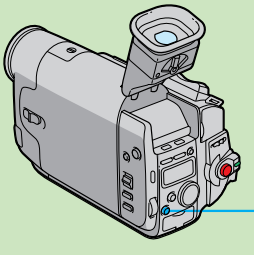
撮影が始まる。

もう一度押すと止まる。*

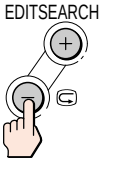


* 赤いボタンを押している間だけ撮影したり、5秒ずつ撮影するように設定するには、14ページをご覧ください。

4 撮影できたか、ちょっと確認する（16ページ）



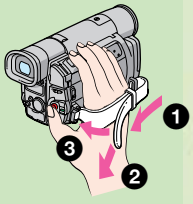
EDITSEARCH⊖ボタンをポンと1回押す。



最後に撮影した場面が数秒間ファインダーに映り、もとの位置に戻る。

うまく撮る姿勢

見やすい画像にするコツは、ハンディカムを動かしすぎないことです。
ふらつかないよう、安定した姿勢で撮影しましょう。



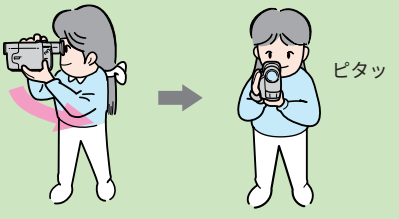
低い位置で撮る姿勢（ローアングル）

ビューファインダーを持ち上げる。

撮影の基本

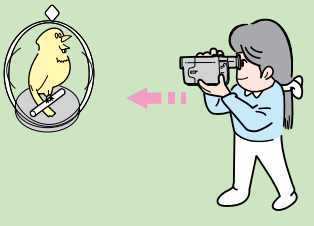
ハンディカムをふり回さない。

写真のつもりで固定して撮ります。左右に動かすとき（パンニング）は、撮り終わりの方につま先を向け、ゆっくり動かします。撮り始めと終わりは、しっかり止めます。



ズームは多用しない。

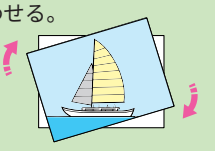
ズームレバーをW側（Wide（ワイド）：広角）にすると、ブレが少なく、ピントが合いやすい状態になります。被写体を大きく撮りたいときは近づいて撮ることをおすすめします。ズームレバーをT側（Telephoto（テレフォト）：望遠）にして撮るよりも、音もよく入り、安定したきれいな画像が撮影できます。



安定した画面にする。

・壁によりかかるなどして安定した姿勢をとる。

・水平、垂直の線をビューファインダーの枠に合わせる。



・三脚を使う。

逆光を避ける。

太陽を背にして、被写体の正面に光が当たるようにします。

必ずお読みください

別売りのアクセサリーキットについて

本機をお使いになるには、別売りのアクセサリーキットが必要です。お持ちでない場合は、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリーキットの取扱説明書をご覧ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書内の写真について

ビューファインダー内の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

目次

はじめに

とにかく撮って見る 2
うまく撮る姿勢 4
準備1　バッテリーを充電する 8
準備2　バッテリーを本体に入れる 9
準備3　カセットを入れる 10
準備4　ファインダーを調節する 11

撮る

撮影する 12
撮影内容を確認する 16

見る

テレビにつなぐ 17
テレビで見る 18

使いこなす

撮影

フェードイン・フェードアウトする 20
逆光を補正する 21
NDフィルターを使う 22
横長の画面にする－ワイドTVモード 23
目的に合わせて撮る－プログラムAE 24
手動でピントを合わせる 26
画像の明るさを調節する 27
撮影中に手動で日時を記録する 28
ある部分だけ撮り直す 29
テープに合わせてきれいに撮る
－ORC設定 31

再生

撮影日時を画面に出す－データコード ... 33
撮影日の変わり目を探す 34
見たい場面にすばやく戻す
－ゼロメモリー 35
各場面の頭出しをする
－インデックス機能 36

編集

記録済みのテープに
RCタイムコードを打ち込む 39
他のビデオへ録画する 40
ビデオやテレビの画像を録画する 41

その他

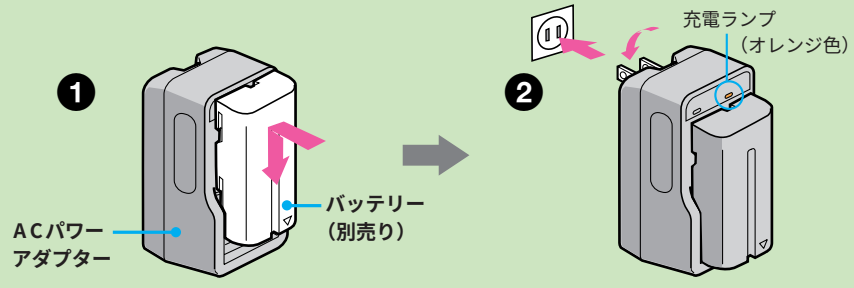
バッテリー以外の電源で使う 42
各種の設定を変える－メニュー 43
ファインダーの明るさを
調節する 46
日付・時刻を合わせ直す 47

ご注意など

使えるビデオカセットと記録・再生方式　49
お手入れについて 50
故障かな？と思ったら 52
保証書とアフターサービス 55
海外で使うとき 55
主な仕様 56
各部のなまえ 57
用語解説 62
警告表示とお知らせメッセージ 64
索引 66
こんなときはこの機能 ..... 裏表紙

準備1 バッテリーを充電する

バッテリーの充電には別売りの充電器が必要です。
ここではACパワーアダプターAC-V615を使った例を説明します。
別売りのACパワーアダプターの取扱説明書もあわせてご覧ください。



バッテリーについて

・バッテリーには充電確認マークがついています。
充電後に「■」側にする習慣にしておくと、ひと目で充電済みかどうかわかり便利です。

ACパワーアダプターにつけて充電したときは自動的に「■」側になります。

・本体にバッテリーを入れたまま充電する→42ページ

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは

インフォリチウムバッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。本機はインフォリチウムバッテリー対応です。インフォリチウムバッテリーNP-F530で使えます。
InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

1 バッテリーを押しながら下にずらしてつける。

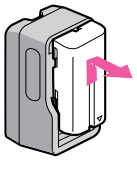
2 コンセントにつなぐ。

充電が始まると、充電ランプが点灯する。

充電が終わると消える（**実用充電**）。さらに約1時間充電すると若干長く使えます（**満充電**）。

充電器から取りはずす

バッテリーを上にずらす。

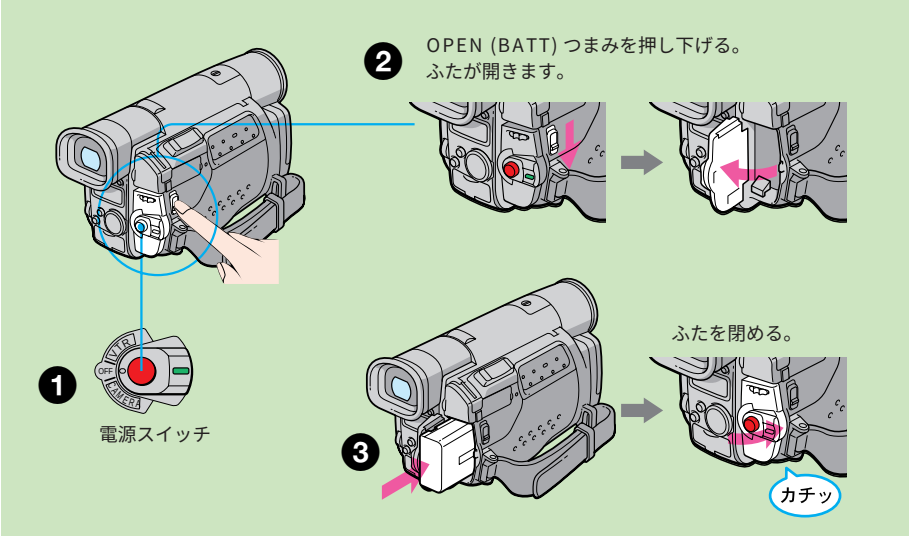


充電時間

バッテリー	満充電時間（実用充電時間）
NP-F530	約170分(約110分)
NP-510	約160分(約100分)

使い切ったバッテリーをAC-V615で充電したときの時間です。

準備2 バッテリーを本体に入れる



誤動作を防ぐために
バッテリーを出し入れするときは必ず電源スイッチを「OFF」にしましょう。

撮影中のバッテリー残量時間表示
バッテリーパックNP-F530をお使いのときは、あと何分連続撮影で使えるかをビューファインダーに表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。

バッテリーを取り出すときは
バッテリー落下防止のため、ふたを上にして取り出してください。

* 録画、スタンバイ、電源入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがある。
** 常温で撮影したときの時間

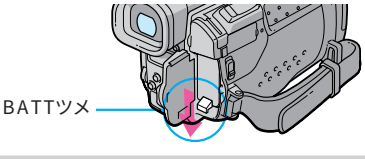
❶ 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認する。

❷ **ふたを開ける。**

❸ **バッテリーを入れ、ふたを閉める。**

本体から取り出す

ふたを開け、BATTツメを下げて取り出す。

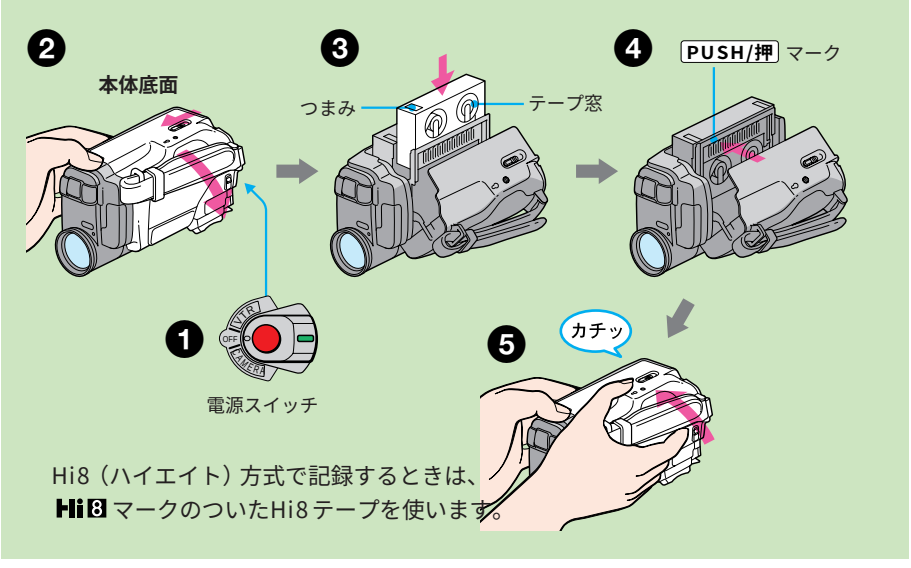


使用時間

バッテリー	実撮影時*	連続撮影時**
NP-F530	約80(75)分	約140(125)分
NP-510	約80(70)分	約135(120)分

(　)内は実用充電してから、それ以外は満充電してから使用したときの時間です。

準備3 カセットを入れる



ご注意

- カセット入れを無理に下げないでください。故障の原因になります。
- カセット入れに指をはさまないようにご注意ください。
  はさまれたときは、約2秒後に自動的にカセット入れが開きます。

誤動作を防ぐために
カセットを出し入れするときは必ず電源スイッチを「OFF」にしましょう。

❶ 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認する。

❷ **OPEN/EJECTつまみをずらしながら開ける。**
カセット入れが自動的に上がって開く。

❸ **カセットを入れる。**
テープ窓を外側に、つまみを上側にして入れる。

❹ **PUSH/押 マークを押してカセット入れを閉める。**
カセット入れが自動的に下がる。

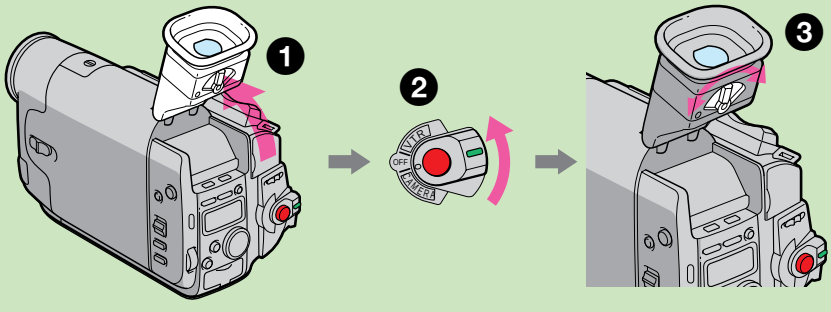
❺ **ふたを閉める。**

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順3で取り出す。

準備4 ファインダーを調節する

ファインダーの画像がはっきり見えないとき、自分の視力に合わせて調節します。



眼鏡をかけている方や画面の四隅が見えないときは
アイカップを折り返してお使いください。

❶ **持ち上げる。**

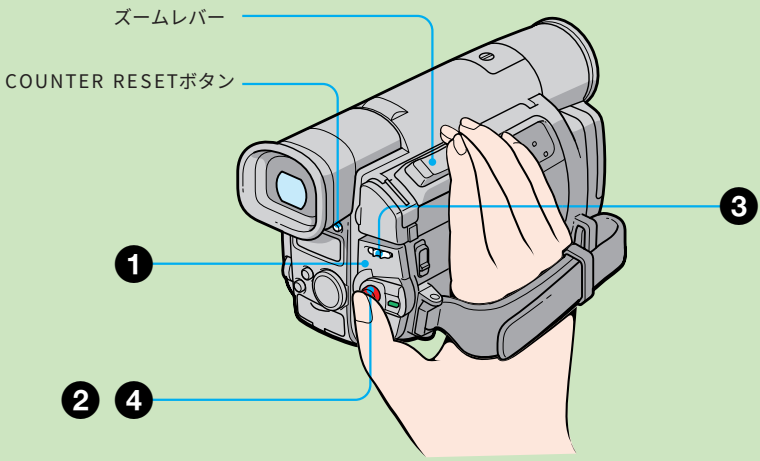
❷ **電源スイッチを「CAMERA」にする。**

❸ **視度調節つまみを動かす。**

ファインダー内の文字がはっきり見えるようにする。

撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。



ご注意

- ビューファインダーやレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- ビューファインダーは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。（有効画素99.99%以上）これらの点は、テープに記録されません。

テープの最初から撮影するときは

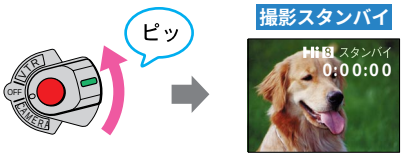
15秒ほど撮影してから本番の撮影をすることをおすすめします。テープの一番初めから撮影すると、他の再生機では初めの部分が欠けることがあります。

1 バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1〜3」（8〜10ページ）をご覧ください。

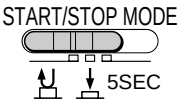
2 緑のボタンを押しながら「CAMERA」にする。

撮影スタンバイになる。



3 START/STOP MODEつまみを ⏸ にする。

（お買い上げ時は ⏸ になっています。）



テープカウンターを「0：00：00」にするときは
COUNTER RESETボタンを押します。

ファインダーから顔を離すと
自動的にファインダーの画像は消えますが、録画や再生などは引き続き行われています。これはバッテリーの消耗を防ぐためですが、ファインダーの画像を常につけておくこともできます（44ページ）。

太陽光や白熱灯の下では
ファインダーの画像が消えない場合もあります。

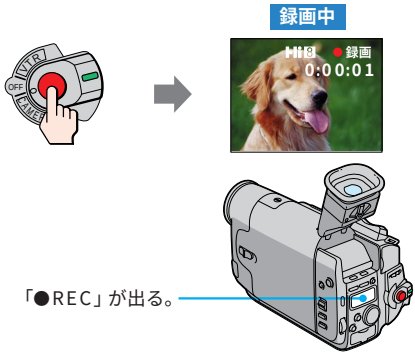
撮影スタンバイ状態が5分以上続くと
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるには電源スイッチを1度「OFF」にしてから、「CAMERA」に戻します。

ファインダー内に「ND ON」が点滅したときは
ND FILTERスイッチを「ON」にします（22ページ）。

❹ START/STOPボタンを押す。

撮影が始まる。

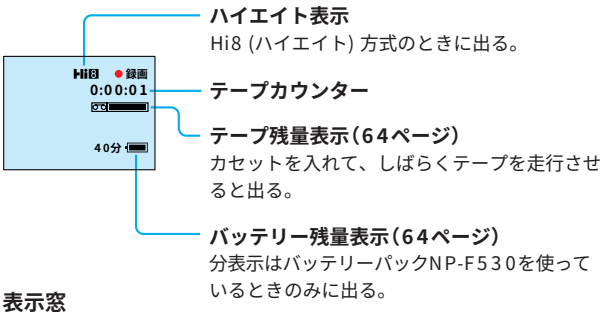
もう一度押すと止まります。



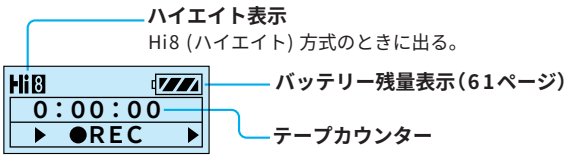
撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。

ビューファインダー



表示窓

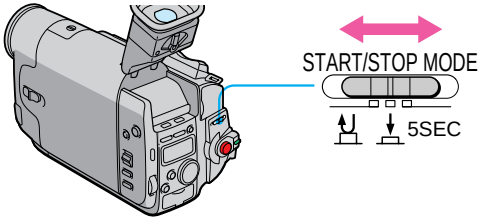


きれいなつなぎ撮りのために
カセットを取り出さない限り、電源を切っても撮影した場面はきれいにつながります。バッテリーの交換は電源を切ってから行えば、きれいなつなぎ撮りができます。

START/STOP MODEで「5SEC」を選んだとき
画面に「・・・・・」が出て1秒たつごとに・が1つずつ消えます。撮影時間を延長するには・がすべて消えてしまわないうちに、もう1度START/STOPボタンを押します。押したときからまた約5秒間撮影されます。

近くのものにピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして広角にします。
ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約100cm以上です。

スタート/ストップモードを選ぶ



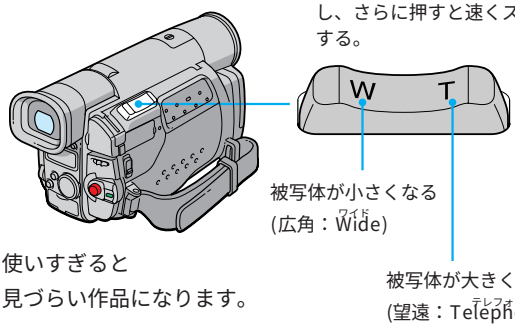
：START/STOPボタンを押すと撮影が始まり、再び押すと止まります（お買い上げ時の設定）。

：START/STOPボタンを押している間のみ撮影し、離すと止まります。

5SEC：START/STOPボタンを押すと5秒間撮影して止まります。

ズームする

ズームレバーを押す。



使いすぎると
見づらい作品になります。

撮影が終わったら

1 電源スイッチを「OFF」にする

2 カセットを取り出す。

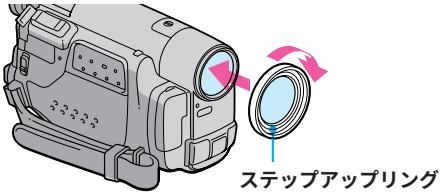
3 バッテリーを取り出す。

レンズを保護するために
レンズの化粧リングをはずしてから、付属のMCプロテクターを取り付けます。

コンバージョンレンズ（別売り）を付ける

52mmのコンバージョンレンズを取り付けられます。

❶ **レンズの化粧リングまたはMCプロテクターをはずして、付属のステップアップリングを取り付ける。**



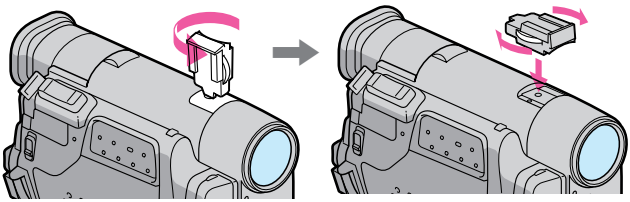
❷ **コンバージョンレンズ（別売り）を取り付ける。**

アクセサリー（別売り）を付ける

外部マイクやビデオライトなどを取り付けられます。

❶ **付属のアクセサリーシューアダプターの突起部で、カバーのネジをゆるめ、カバーをはずす。**

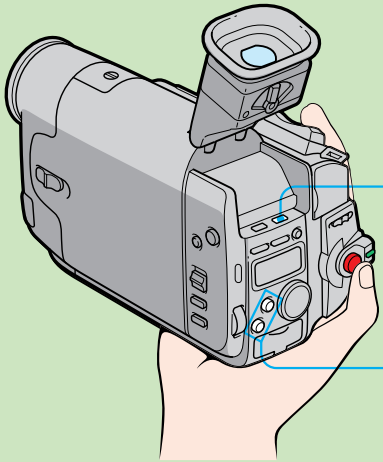
❷ **アクセサリーシューアダプターを取り付ける。**



❸ **アクセサリー（別売り）を取り付ける。**

撮影内容を確認する

撮った画面が気になるときや、最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。ビューファインダーで撮影内容が確認できます。



ご注意

エンドサーチをしてからつなぎ撮りをすると、まれに場面がきれいにつながらないことがあります。

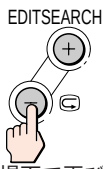
次のとき、エンドサーチ機能は働きません

撮影後、カセットを取り出したとき

エンドサーチとは？

本機では、撮影後にカセットを取り出すまで最後に撮影を終えたテープの位置を記憶しています。エンドサーチはこの位置を探す機能です。

最後の画面を確認する－レックレビュー

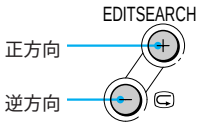


[撮影スタンバイ中] に

EDITSEARCH⊟ ボタンを、ポンと1回押す。

最後に撮影した場面が数秒間出て、撮影した最後の場面で再び撮影スタンバイに戻る。（ヘッドホンで音も確認できます。）

正方向または逆方向に再生する －エディットサーチ



[撮影スタンバイ中] に

EDITSEARCHボタンを押し続ける。

指を離したところが、次の撮影開始点になる。（音は出ません。）

最後に撮影した部分に戻る。－エンドサーチ

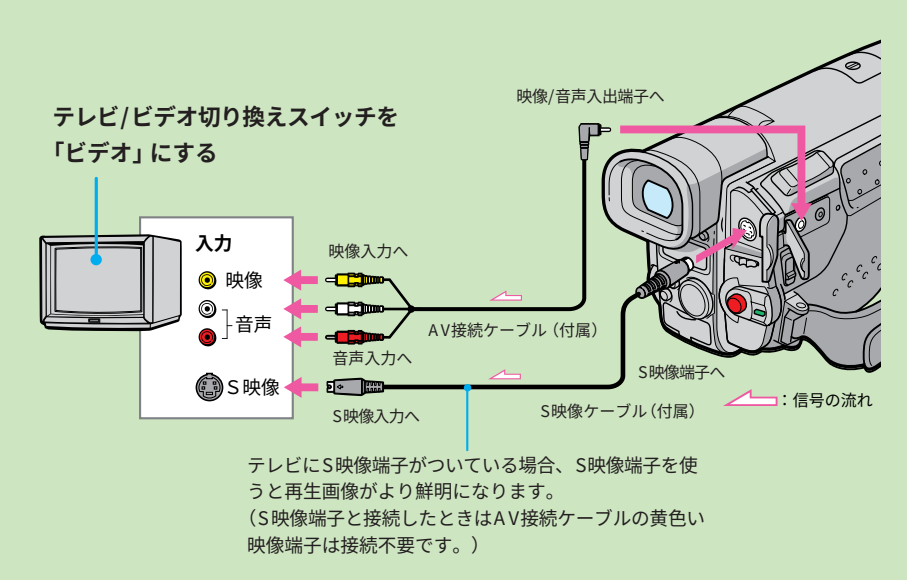
[撮影スタンバイ中] に

END SEARCHボタンを押す。

最後に撮影した終わりの約5秒間が再生されて止まる。

テレビにつなぐ

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機に付属のAV接続ケーブルを下の図のようにつなぎます。



すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

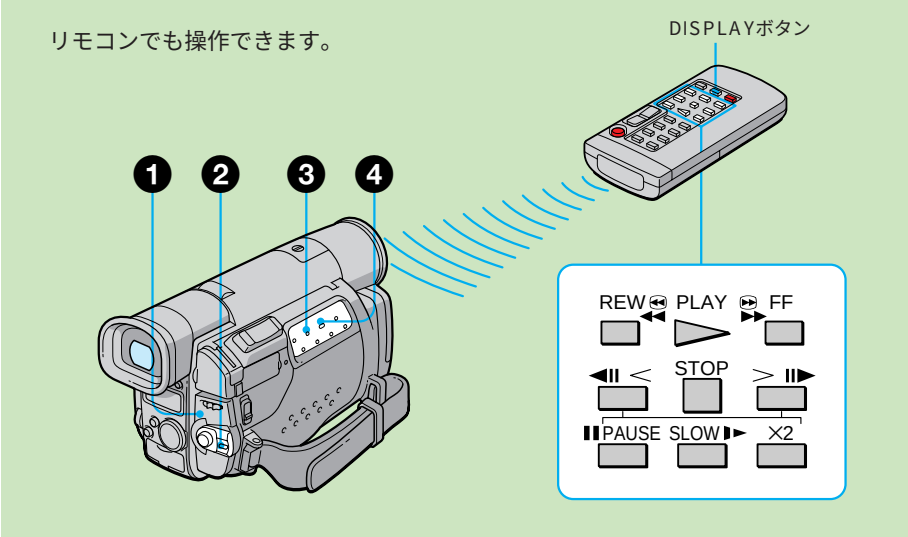
音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。

音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。

モノラル音声でお聞きになりたいときは別売りの接続コードRK-C165をお使いください。

テレビで見る



ご注意

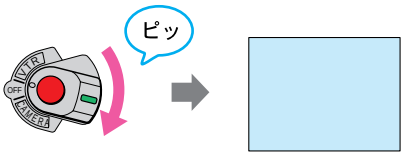
外国製のビデオソフトのなかには、カラーテレビ方式が異なるため本機で再生できないものもあります。

テレビ画面にカウンターなどの表示を出すには

リモコンのDISPLAYボタンを押します。消すときは、もう1度押します。

❶ バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。

❷ **緑のボタンを押しながら「VTR」にする。**



操作ボタン表示窓が点灯する。

❸ **◀◀REW（巻き戻し）ボタンを押す。**

巻き戻しが始まる。

❹ **▶PLAY（再生）ボタンを押す。**

画像が映る。

再生中の音声は
ふつうの再生時以外は音声は出ません。

一時停止（静止画）について
・画像にノイズが出ることがありますが、故障ではありません。
・5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう1度►PLAYボタンを押します。

スロー再生について
1分以上続くと自動的にふつうの再生に戻ります。

エンドサーチとは？
本機では、撮影後にカセットを取り出すまで最後に撮影を終えたテープの位置を記憶しています。エンドサーチはこの位置を探す機能です。
撮影後、カセットを取り出していないときに限り、エンドサーチが働きます。

いろいろな再生

止める
[再生中] ■STOPボタンを押す。

静止画を見る
[再生中]❚❚PAUSEボタンを押す。もう1度押すか、
►PLAYボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする
[再生中] ■STOPボタンを押し、►►FFボタンを押す。
►PLAYボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す
[再生中] ■STOPボタンを押し、◄◄REWボタンを押す。
►PLAYボタンを押すとふつうの再生に戻る。

逆方向に再生する
リモコンの＜ボタンを押す。
►PLAYボタンを押すとふつうの再生に戻る。

ひとコマづつ画像を見る（コマ送り再生）
一時停止中にリモコンの❚❚►（コマ送り）または◄❚❚（コマ送り）ボタンを押す。►PLAYボタンを押すとふつうの再生に戻る。

2倍速で画像を見る（倍速再生）
再生中にリモコンの×2ボタンを押す。
逆方向に倍速再生するときは、リモコンの＜を押してから×2ボタンを押す。►PLAYボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り/巻き戻しする
[再生中] ►► FFボタン/◄◄ REWボタンを押し続ける。離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り/巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）
[早送り中] または [巻き戻し中] ►►FFボタン/◄◄REWボタンを押し続ける。離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

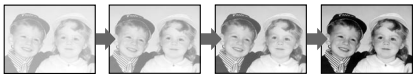
スロー画を見る
[再生中] リモコンの❚►SLOWボタンを押す。
►PLAYボタンを押すとふつうの再生に戻る。

最後に撮影した部分を探す（エンドサーチ）
[停止中] END SEARCHボタンを押す。最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

フェードイン・フェードアウトする

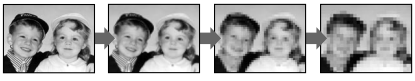
白画面やモザイク画面から徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、

例：白画面からのフェードイン



逆に徐々に消したり（フェードアウト）する演出ができます。

例：モザイク画面へのフェードアウト



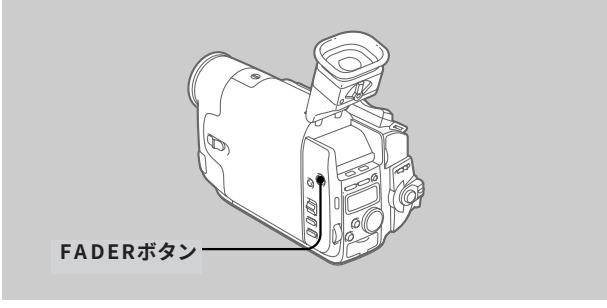
こんなときに使うと効果的です

- 大きな場面転換（フェードアウト・フェードイン）
- 物語の始めなど（フェードイン）
- 一日の終わりなど（フェードアウト）
- 余韻を残して終わる（フェードアウト）

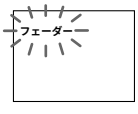
フェードを多用すると
被写体の状況が わかりづらくなり、見づらい映像になります。

日付や時刻表示にはフェードは働きません
不要の場合は日付、時刻表示を消してから行ってください。

START/STOP MODEつまみが ⏸ か5SECのとき
フェードイン・フェードアウトはできません。



1 ・フェードインは [撮影スタンバイ中] に
・フェードアウトは [撮影中] に
FADERボタンを押して希望のフェーダー表示を出す。



押すたびに変わります。
フェーダー→モザイクフェーダー
→（表示なし）

2 **START/STOPボタンを押す。**

フェーダー表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除される。

フェードイン・フェードアウトを解除する

フェード終了後：自動的に解除される。

フェード前：START/STOPボタンを押す前に再度FADERボタンを押し、フェーダー表示を消す。

逆光を補正する

逆光のときは背景が明るすぎて被写体が暗めになるので、明るさ補正をして撮ります。

いつ使う?

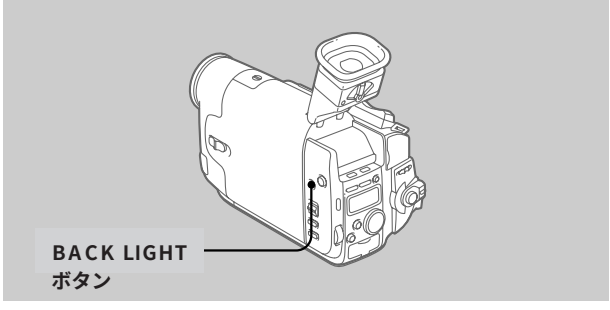
被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映るときなど。

次の場合にも、逆光の補正をすると効果的です

・画面の中に強い光を発するものがあるとき
・白い服を着た人物が白い壁の前にいるとき

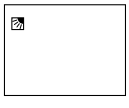
EXPOSUREボタンを押すと

逆光補正は解除されます。



BACK LIGHTボタンを押す。

逆光補正表示が出る。



被写体の明るさが補正される。

逆光補正を解除する

BACK LIGHTボタンをもう1度押して、逆光補正表示を消す。

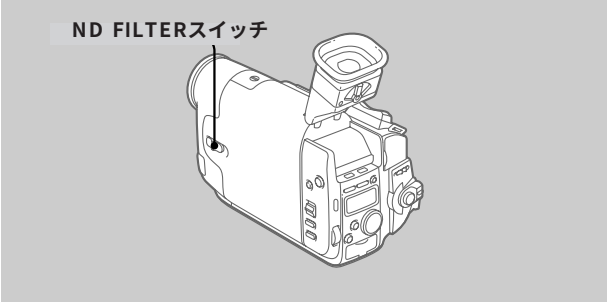
NDフィルターを使う

本機には、NDフィルター(光量1/10相当)が内蔵されています。NDフィルターを使うと、屋外などで明るすぎる場面を撮るときに生じるぼけを防ぎ、はっきりときれいに撮れます。

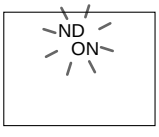
いつ使う?　ファインダー内に「ND ON」が点滅したとき

ND FILTERスイッチの切り換えは
撮影スタンバイ中にすることをおすすめします。撮影中に切り換えると、画像が乱れたり、切り換え音が録音されたりすることがあります。

NDフィルターとは?
色調を変えずに光量だけを減少させるためのフィルターです。本機では、NDフィルターの必要性を自動的に感知してファインダー内に表示します。「ND ON」「ND OFF」が点滅したときは、ND FILTERスイッチを切り換えて使うことをおすすめします。



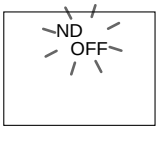
ファインダー内に「ND ON」が点滅したとき



ND FILTERスイッチを「ON」にする。

ファインダー内の「ND ON」が点滅から点灯に変わる。

ファインダー内に「ND OFF」が点滅したら



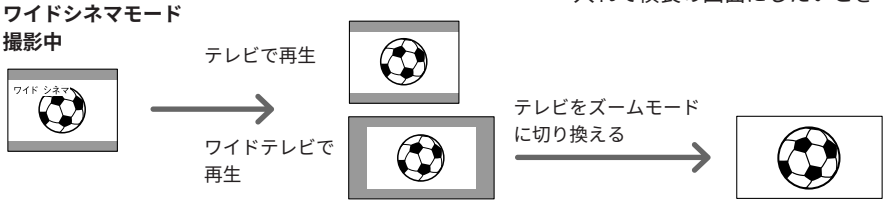
ND FILTERスイッチを「OFF」にする。

横長の画面にする – ワイドTVモード

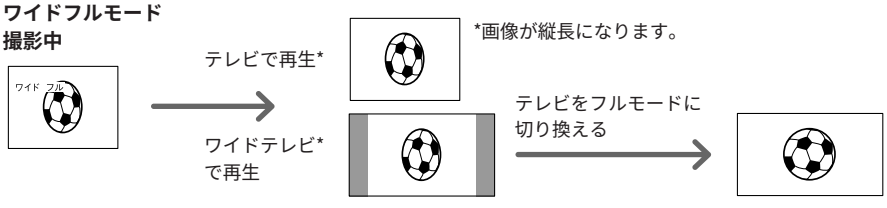
再生したときに横長の画面になるように撮影します。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

いつ使う?
- ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき
- ふつうのテレビで上下に黒い帯を入れて横長の画面にしたいとき

ワイドシネマモード撮影中



ワイドフルモード撮影中



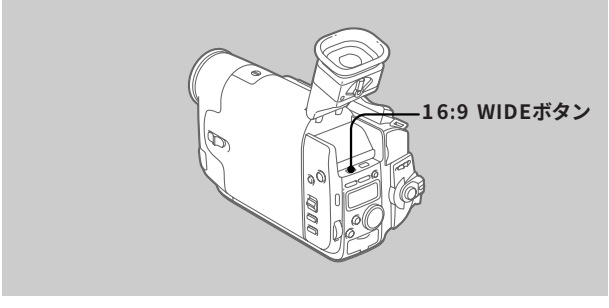
*画像が縦長になります。

電源をはずして5分以上たつと
ワイドTVモードは解除されます。

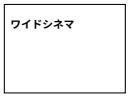
日付・時刻表示は
「ワイドフル」で記録すると、ワイドテレビで見る場合は横長の字になります。

ビデオIDシステム（ID-1）方式対応のテレビに接続すると
「ワイドTVモード」にして記録した画像が再生されると、自動的にズームモードかフルモードに切り換わります。

録画中は
ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。



[撮影スタンバイ中] に、16:9 **WIDEボタンを押して、希望のワイドTVモード表示を選ぶ。**



押すたびに変わります
ワイドシネマ→ワイドフル→（表示なし）

ワイドTVモードを解除する

[撮影スタンバイ中]に16:9 WIDEボタンを押して、ワイドTVモード表示を消す。

目的に合わせて撮る ミ プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

スポットライトモード
舞台や結婚式など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

ビーチ&スキーモード
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

ポートレートモード
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。また肌色がきれいになるようにします。

サンセット&ムーンモード
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに再現します。

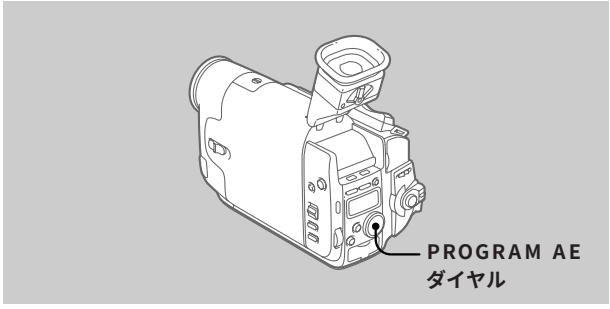
スポーツレッスンモード
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のブレを少なくします。

風景モード
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせます。また、風景を窓ガラスや金網越しに撮影するときに、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

ご注意

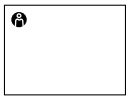
・次のモードでは近くのもの（50cm以内）にピントが合わないようにフォーカスを制御します。
　ースポットライトモード
　ースポーツレッスンモード
　ービーチ＆スキーモード
・次のモードでは遠景（10m以上）のみにピントが合うようにフォーカスを制御します。
　ーサンセット＆ムーンモード
　ー風景モード

プログラムAEモードで撮影しているときにも
明るさを調節できます（27ページ）。



[撮影中] または [撮影スタンバイ中] に
PROGRAM AEダイヤルを回して希望のモード記号を本体の合わせ位置に合わせる。

プログラムAEモード表示が出る。



PROGRAM AEダイヤルについているものと同じ表示が出ます

表示窓にも各モードの表示が出ます。

自動調節に戻すとき

PROGRAM AEダイヤルの●を本体の合わせ位置に合わせる。

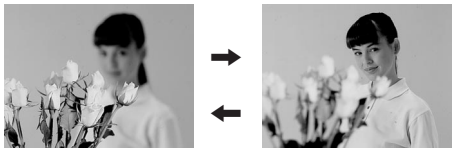
プログラムAEモード表示が消える。

手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピントをあわせることができます。

いつ使う?

- 自動ではピントが合いにくいとき
- 三脚を使って静止した被写体を撮るのにピントを固定したいとき
- 手前の花から後方の人物へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき



こんなときに使うと効果的です

- 被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
- 被写体が横じまだけのものとき
- 被写体と背景とのコントラストが低いとき

このようなときには自動でピントが合いにくいことがあります。

ズームのときにもピントがずれないようにするには

ズームをT側（望遠）にしてからピントを合わせます。

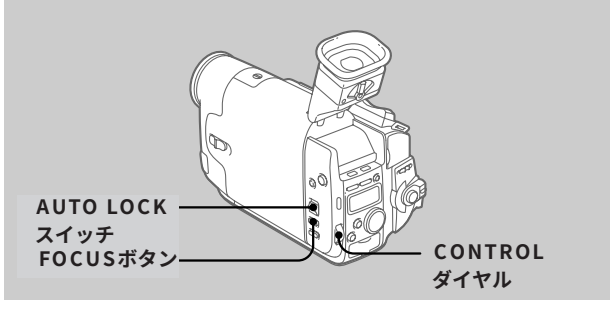
近づいて大きく撮るとき

ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

次のようなときには

手動ピント合わせをしたあと、なるべくW側（広角）で撮ります。

- 暗い室内で撮るとき
- 明るい野外で動きの激しいものを撮るとき



❶ ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に AUTO LOCKスイッチを下げる。

❷ FOCUSボタンを押す。

手動ピント合わせ表示 が出る。

❸ CONTROLダイヤルを回し、ピントを合わせる。

自動調節に戻すとき

FOCUSボタンを押して、 表示を消す。またはAUTO LOCK スイッチを上げる。

画像の明るさを調節する

画像のお好みの明るさに手動調整し、固定することができます。

いつ使う?
- 逆光補正を細かく行いたいとき
- 背景に比べて、被写体が明るすぎるとき、など。

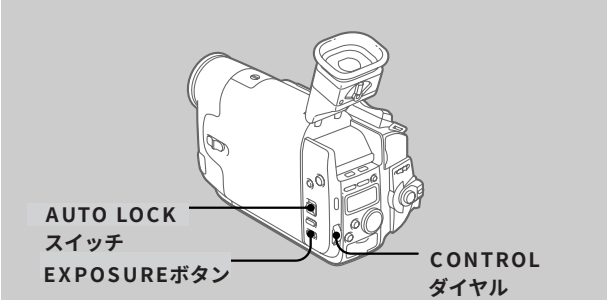
明るさ調節をしているときは
逆光補正は働きません。

明るさを手動調節しているときに
PROGRAM AEダイヤルを回すと明るさ調節は自動に戻ります。

AUTO LOCKスイッチを上げて自動調節に戻したときは
もう1度AUTO LOCKスイッチを下げると、直前に調節した明るさに戻ります。

明るさを自動調節しているときは
被写体がはっきり映るように調節するため、実際よりも明るく映ることがあります。

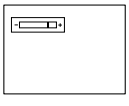
CONTROLダイヤルは
両方向へ回ります。回転が止まる位置はありません。



1 ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に
AUTO LOCKスイッチを下げる。

2 **EXPOSUREボタンを押す。**

明るさ表示が出る。



3 **CONTROLダイヤルを回し、明るさを調節する。**

自動調節に戻すとき

EXPOSUREボタンを押して、明るさ表示を消す。またはAUTO LOCKスイッチを上げる。

撮影中に手動で日時を記録する

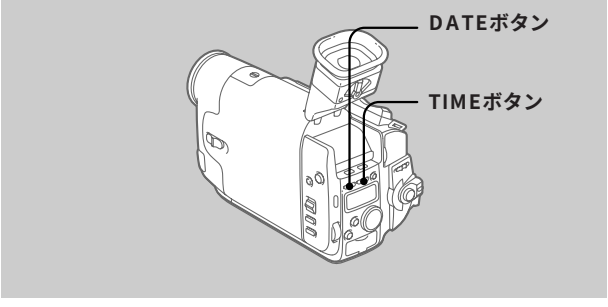
日付・時刻を画像にかさねて記録します。あらかじめ10秒ほど黒画面を背景に日時のみを記録し、本番の撮影のときは日時を消しておくことをおすすめします。

ずっと日時を入れたままにすると、再生したときに映像の邪魔になったり、編集のときに表示の日時が前後してしまったりします。

ご注意

- 日付と時刻は同時に記録できません。
- 一度記録した日時は消せません。

「ワイド シネマ」で撮影中は
日付や時刻を表示すると、日付、時刻、バッテリー残量の表示が上にあがります。



[撮影中] に

日付を入れる →DATEボタンを押す。
時刻を入れる →TIMEボタンを押す。

表示を消すとき

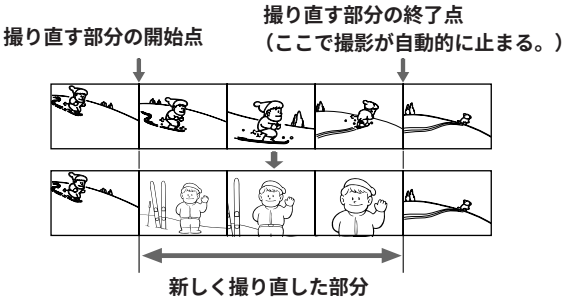
もう1度押す。

ある部分だけ撮り直す

撮影した画像の一部分だけをあとで取り直すことができます。ファインダーを見ながら、撮り直したい部分の始め（開始点）と終わり（終了点）を決めて、その部分だけ新しく取り直します。

リモコンでのみ操作できます。

メニューで「カウンター」を「ノーマル」にしておきます。

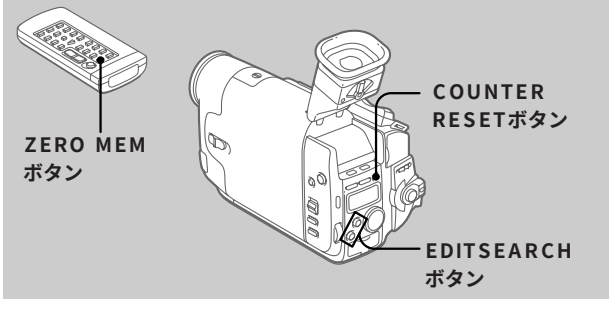


終了点の位置を変えるときは
ZERO MEMボタンをもう一度押して、「ゼロメモリー」表示を消してから、手順1～4を繰り返します。

撮り直した部分を再生すると
終了点の画像が乱れることがありますが、故障ではありません。

途中に記録されていない部分があると
ゼロメモリー機能が正しく働かない場合があります。

START/STOP MODEつまみが ⏳ か5SECのとき
この機能は働きません。



❶ ［撮影スタンバイ中］に
EDITSEARCHボタンを押し続けて、撮り直す部分の終了点で離す。

❷ COUNTER RESETボタンを押す。
カウンター値が「0:00:00」になる。

次のページへつづく

❸ EDITSEARCHボタン (ミ) を押し続けて、撮り直す部分の開始点で離す。

❹ ZERO MEMボタンを押す。

「ゼロメモリー」が点滅し、撮り直す部分の終わりの位置が記憶される。

❺ 撮影する。

撮り直す部分に新しく録画される。

カウンター値が「0:00:00」の付近で、自動的に撮影スタンバイになり、ゼロメモリーは解除される。

テープに合わせてきれいに撮る－ORC設定

テープの種類や状態に合わせて、最適な状態で録画できるようにします。

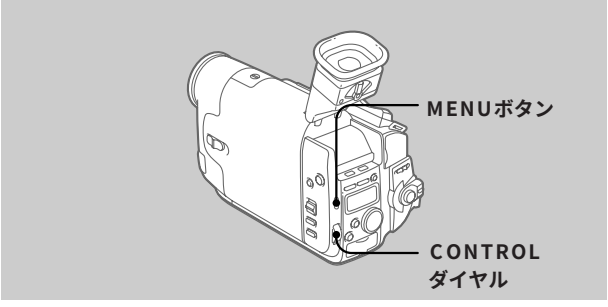
いつ使う? カセットを入れて、撮影を始める前。

カセットを取り出すと
ORC設定が解除されます。カセットを入れるたびに設定し直してください。

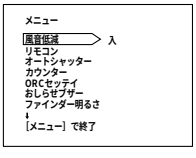
カセットの背の誤消去防止ツマミが赤くなっているテープには
ORC設定はできません。

録画済みのテープにORC設定すると
約0.1秒間の無記録部分ができます。ただし、その部分から続けて撮影すれば無記録部分はなくなります。

ORC設定をすると
テープの状態を調べるために、テープ上の画像記録を約0.1秒消去します。ただし、その部分から続けて撮影すれば空白はなくなります。

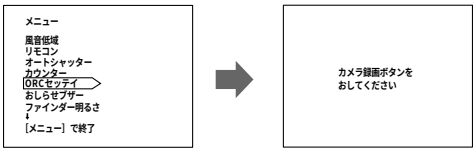


❶ [撮影スタンバイ中] に
MENUボタンを押す。



❷ **CONTROLダイヤルを回して「ORCセッテイ」を選び、CONTROLダイヤルを押す。**

ビューファインダー



表示窓

=ORC　STBY=

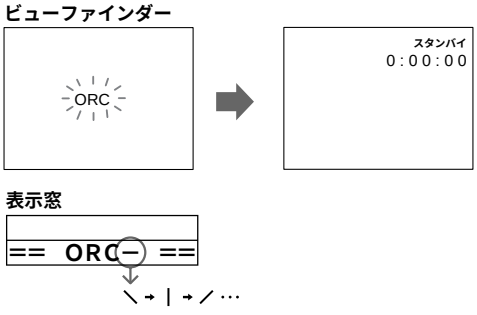
次のページへつづく

使いこなす

❸ START/STOPボタンを押す。

ORC表示が点滅する。

設定が終わると（約9秒後）ORC表示が消え、撮影スタンバイに戻る。

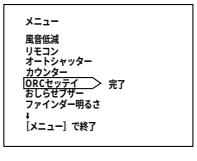


ORC設定を確認するとき

メニュー画面を出して、「ORCセッテイ」を選ぶ。

「完了」表示が出たら、ORCは設定済みです。

MENU ボタンを押して、メニュー画面を消します。



撮影日時を画面に出す – データコード

本機は、撮影時の日付・時刻を自動的に画像とは別にテープに記録しています（データコード機能）。

いつ使う?

再生時に日付・時刻を出したり消したりしたいとき。

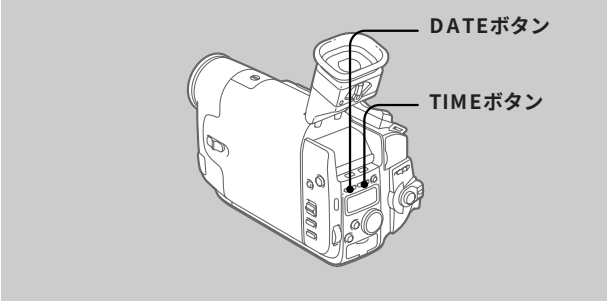
ご注意

他の8ミリビデオデッキなどでPCMアフレコを行ったり、インデックス信号を入れたり、タイムコードアフレコをしたりすると、データコードが消去されることがあります。

データコードを表示中は
表示窓に「DC」が表示されます。

次のときは、---- -- --または --:--:--を表示します。

- 何も記録されていない部分
- テープの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
- LPモードで記録されているテープ
- 日付・時刻を合わせないで撮影したテープ
- データコード機能が付いていないビデオカメラレコーダーで撮影したテープ



[再生中] に

日付を出す →DATEボタンを押す。
時刻を出す →TIMEボタンを押す。

表示を消すとき

もう1度押す。

リモコンで操作する

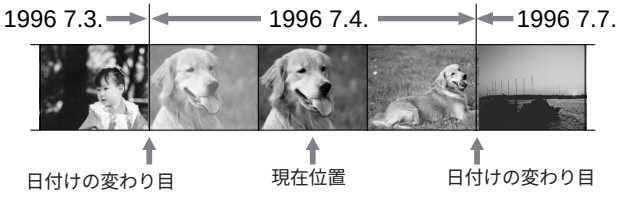
[再生中] に、DATA CODEボタンを一度押すと日付が出る。もう一度押すと時刻が出て、さらにもう一度押すと消える。

撮影日の変わり目を探す

撮影した日付の変わり目を自動的に探し、そこから再生を始めることができます（日付サーチ）。また、日付の変わり目を次々に探し、自動的に約10秒ずつ再生することもできます（日付スキャン）。リモコンでも操作できます。

いつ使う?

撮影日の変わり目を確認したり、撮影日ごとに編集するときなど。



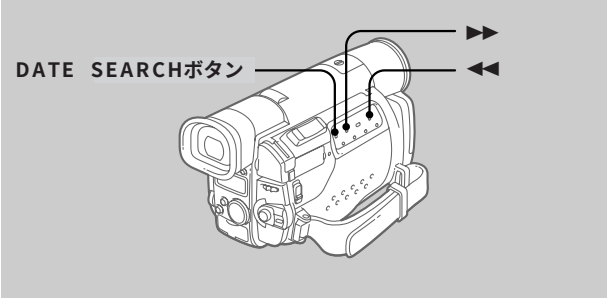
ご注意

- データコード機能のない他のビデオカメラレコーダーで撮影したテープでは、日付サーチ・日付スキャン機能は働きません。
- 日付の変更点の間隔は、2分以上必要です。間隔が短いと変わり目が正しく検出されないことがあります。
- インデックス信号の再生打ち込みや消去をすると頭出しが約10秒ずれることがあります。

途中でとめるときは
日付サーチ、■停止、◀◀巻戻し、▷再生、▶▶早送りのいずれかのボタンを押します。

再生から始めると
日付の変更点を探している間、早送り、または巻き戻しの画像が映ります。

記録済みのテープにRCタイムコードを打ち込むと
日付サーチ・日付スキャン機能は働きません。



❶ ［再生中］に
日付けサーチ
→DATE SEARCHボタンを1回押す。
日付スキャン
→DATE SEARCHボタンを2回押す。

❷ **◀◀REW（巻戻し）、または▶▶FF（早送り）ボタンを押す。**

日付をさかのぼるときは、◀◀REWボタンを、日付を進めるときは、▶▶FFボタンを押す。

日付の変わり目で自動的に再生がはじまる。

日付スキャンの後で、通常の再生に戻るときは、▷PLAY（再生）ボタンを押す。

見たい場面にすばやく戻す – ゼロメモリー

カウンター値が「0:00:00」の地点まで巻き戻しや早送りをして、自動的に停止するようにできます。

リモコンでのみ操作できます。

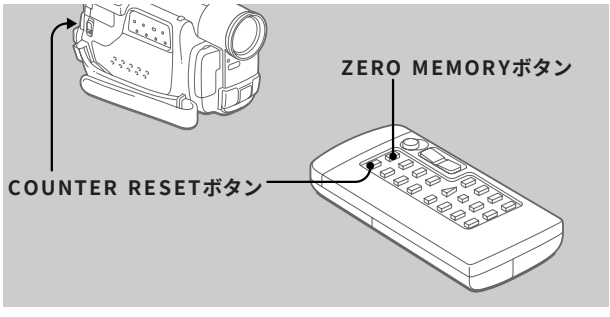
メニューで「カウンター」を「ノーマル」にしておきます。

いつ使う?

再生中に、後でもう一度見たいと思う場面があったときなど。

ご注意

- RCタイムコードが表示されているときは、この機能は働きません。
- 巻き戻す前にZERO MEMボタンをもう1度押すと、ゼロメモリーが解除されます。
- カウンター値と実際の時間に多少誤差が出ることがあります。



❶ ［再生中］に、**後で見たい場面でCOUNTER RESETボタンを押す。**

カウンター値が「0:00:00」になる。

❷ **再生し終わったら、■STOP（停止）ボタンを押す。**

❸ **ZERO MEMボタンを押す。**

ゼロメモリー表示が点滅する。

❹ **◀◀REW（巻戻し）ボタンを押す。**

カウンター値が「0:00:00」の付近で。自動的に停止する。

❺ **▷PLAY（再生）ボタンを押す。**

カウンター値が「0:00:00」からもう1度再生される。

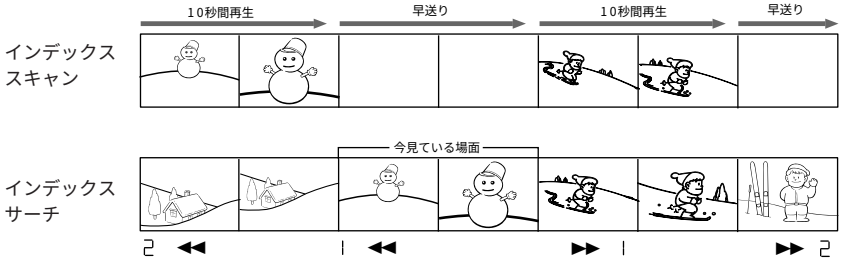
各場面の頭出しをする – インデックス機能

それぞれの場面の頭に、インデックス信号を打ち込んでおけば、あとで各場面の頭出しやとばし見ができます。

リモコンでのみ操作できます。

いつ使う?

1本のテープ中で、場面がいくつも変わるときなど。



ご注意

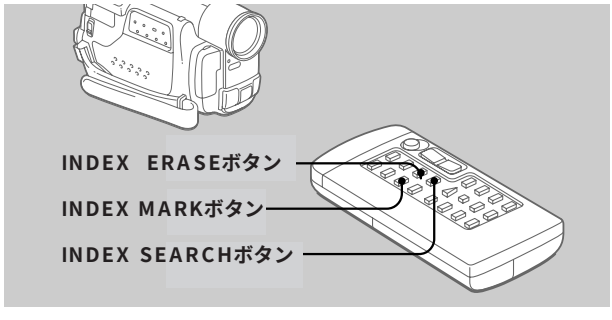
- カセットの背の誤消去防止ツマミが赤くなっているテープには、インデックス信号が打ち込めません。
- インデックス信号を正しく検出するために
  ー信号の間隔は2分以上開けてください。
  ーインデックス打込表示が点灯中は、撮影を止めないでください。

データコードを記録してあるときは

インデックス信号を打ち込むとインデックス信号を記録した部分のデータコードが消えます。消えた部分を再生すると、直前のデータをそのまま表示します。

再生中に打ち込むと

黒い帯が出ます。
この間は音声は出ません。すでに記録されている映像・音声には影響ありません。



インデックス信号を打ち込む

インデックス信号は、撮影中でも再生中でも打ち込むことができます。

インデックス信号を打ち込みたい場面で、INDEX MARKボタンを押す。

インデックス打込表示が出て、約10秒後に消える。

撮影（または再生）の始めに打ち込むとき

撮影スタンバイ（または再生一時停止中）に
INDEX MARKボタンを押してから、撮影（または再生）を始める。

ご注意

インデックス信号を記録した部分に他の8ミリビデオデッキなどでPCMアフレコを行うと、インデックス信号が消去されることがあります。

電源スイッチを「VTR」にして録画すると
インデックス信号は録画の始めに自動的に打ち込まれます。
ただし、録画一時停止の状態から録画すると、打ち込まれません。

インデックスサーチで指定するインデックス番号は
前後に関係なく、今見ている場面から何場面離れているかを指定します。

各場面を次々に見る－インデックススキャン

インデックス信号のついた場面を次々に探し、自動的に約10秒ずつ再生します。

❶ [再生中] または [停止中] に
INDEX SEARCHボタンを押す。

「インデックススキャン」表示が出る。

❷ **今より前の場面を見る**
→◀◀REW（巻戻し）ボタンを押す。
今より先の場面を見る
→▶▶FF（早送り）ボタンを押す。

各場面を10秒ずつ再生する。

ふつうの再生に戻すには、▷PLAY（再生）ボタンを押す。

ある場面の頭出しをする－インデックスサーチ

ある特定の場面を探して、頭出しをすることができます。

❶ [再生中] または [停止中] に
頭出ししたいインデックス番号が出るまで
INDEX SEARCHボタンを押す。

「インデックスサーチ」表示が出る。

❷ **今より前の場面を見る**
→◀◀REW（巻戻し）ボタンを押す。
今より先の場面を見る
→▶▶FF（早送り）ボタンを押す。

選んだ場面の再生が始まる。

次のページへつづく

ご注意

- データコードを記録してあるテープのインデックス信号を消去すると、その部分のデータコードが消えます。
- カセットの背の誤消去防止ツマミが赤くなっているテープのインデックス信号は消去できません。

他のビデオデッキで打ち込んだインデックス信号は
本機で検出することはできますが、消去できないことがあります。

本機で打ち込んだインデックス信号は
他のビデオデッキで検出することはできますが、消去できないことがあります。

インデックス信号の消去中は
画面下部に黒い帯が出て音声が聞こえなくなりますが、テープ上の記録には問題ありません。

インデックス信号を消す

不要なインデックス信号は、消すことができます。

1 [再生中] または [停止中] に
インデックス番号を消したい場面の頭出しをする。

インデックススキャンまたはインデックスサーチで行う。

2 **消したい場面が再生されたら、INDEX ERASEボタンを押す。**

消したい場面の再生が始まってから、約2秒〜10秒以内に押す。

消去が終わると、インデックススキャンで選んだ場合は次の頭出しに移る。インデックスサーチで選んだ場合はふつうの再生に戻る。

記録済みのテープにRCタイムコードを打ち込む

記録済みのテープの1コマ1コマの映像に対応したカウンター値（RCタイムコード）を記録できます。

リモコンでのみ操作できます。

いつ使う?

編集したテープやRCタイムコード機能のないビデオカメラレコーダーで撮影したテープに正確なカウンターを記録したいとき。

ご注意

記録済みのテープにRCタイムコードを記録すると、データコードが消去されます。

次のときはRCタイムコードの打ち込みが解除されます。

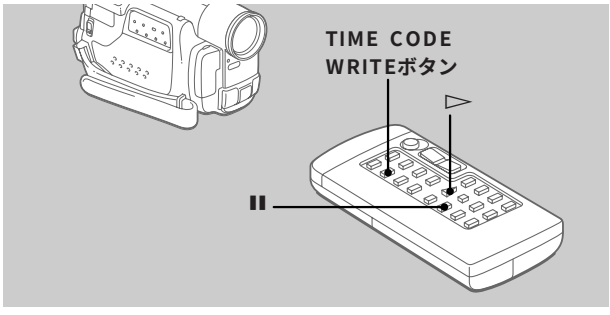
- 再生を始める前にTIME CODE WRITEボタンをもう1度押した、またはINDEXボタンを押した
- 再生以外のモードに移った

LPモードとSPモードが混じって記録されているときは

正しく読み取れないことがあります。

次のときは、再生中に--:--:--を表示します。

- 何も記録されていない部分
- テープの傷やノイズなどでRCタイムコードを読み取れない
- RCタイムコード機能が付いていないビデオカメラレコーダーで撮影したテープ（RCタイムコードを打ち込み直すことをおすすめします）



❶ テープの始めまで巻き戻す。

❷ ▷PLAY（再生）ボタンを押してから、❚❚PAUSE（一時停止）ボタンを押す。

❸ TIME CODE WRITEボタンを押す。

タイムコード打込表示が点滅する。

❹ ❚❚PAUSE（一時停止）ボタンを押す。

タイムコード打込表示が点滅から点灯に変わり、0:00:00:00からRCタイムコードが打ち込まれる。

途中で打ち込みを止めるとき

■STOP（停止）ボタンまたは他のテープ走行ボタンを押す。

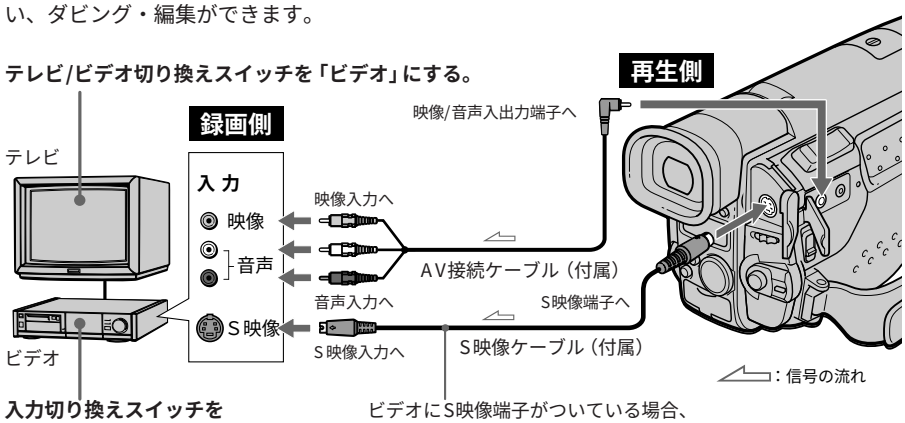
途中までRCタイムコードを記録してあるテープに打ち込むとき

手順2で、RCタイムコードが最後に記録されている場面を出し、手順3、4を行います。

RCタイムコードが打ち込まれていないテープの途中から打ち込む場合、テレビ画面に表示されている画像より数フレーム前の画像から打ち込みが始まります。

他のビデオへ録画する

本機を再生機、他のビデオを録画機として使い、ダビング・編集ができます。



相手側のビデオは
以下のどの方式のビデオでも使えます。
8, Hi8, VHS, VHSC, SVHS, SVHSC, β

音声入力端子がひとつ（モノラル）のビデオにつなぐときは
AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。
音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

❶ 本機に録画済みのカセットを、他のビデオに録画用のカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「VTR」にする。

❸ メニューで「エディット」を「入」にする。（43ページ）

❹ 本機のカセットを再生し、他のビデオに録画したい場面で❚❚PAUSE（一時停止）ボタンを押す。

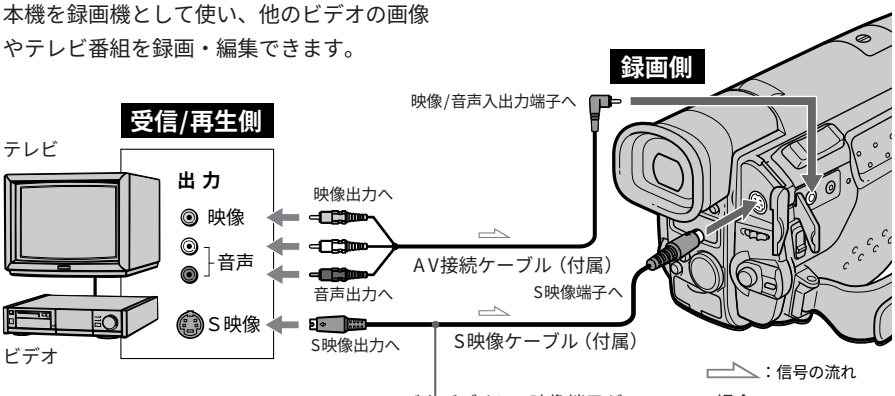
❺ 録画機を録画一時停止にする。

❻ 本機と録画機の❚❚一時停止ボタンを同時に押す。

ダビング・編集が終わったら、メニューで「エディット」を「切」にする。

ビデオやテレビの画像を録画する

本機を録画機として使い、他のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。



テレビやビデオにS映像端子がついている場合、S映像端子を使うと再生画像がより鮮明になります。（S映像端子を接続したいときはAV接続ケーブルの黄色い映像端子は接続不要です。）

ご注意

・ビデオやテレビにS映像端子がない場合、本機にS映像ケーブルはつながないでください。映像が出なくなります。

音声出力端子がひとつ（モノラル）のビデオにつなぐときは

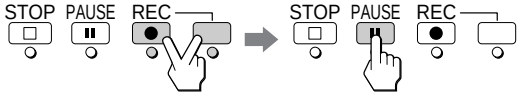
AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグを音声出力へつなぎます。
音声は、左音声として記録されます。

❶ 本機に録画用のカセットを、他のビデオに録画済みのカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「VTR」にする。

❸ 本機を録画一時停止にする。

●REC（録画）ボタンを2つ同時に押し、すぐに❚❚PAUSE（一時停止）ボタンを押す。



❹ 他のビデオで再生を始める。または録画したいテレビ番組を受信する。

❺ 録画したい場面で❚❚PAUSE（一時停止）ボタンを押す。

録画が始まる。

バッテリー以外の電源で使う

テープを再生するときなど、長時間使用するときは家庭用コンセントや自動車の電源を使うと、バッテリー切れの心配なく使えます。

ご注意

本体後面のカバー内にある端子には触れないでください。

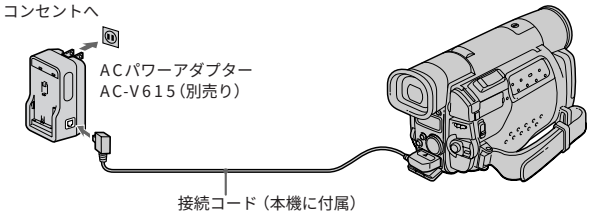
本機に接続コードをつないでいると
バッテリーを入れてもバッテリーを電源としては使えません。

コンセントにつないで使うとき
接続コードをひっぱらないでください。プラグがコンセントから抜けることがあります。コンセントにつないで使うときは、市販の延長コードを使うことをおすすめします。

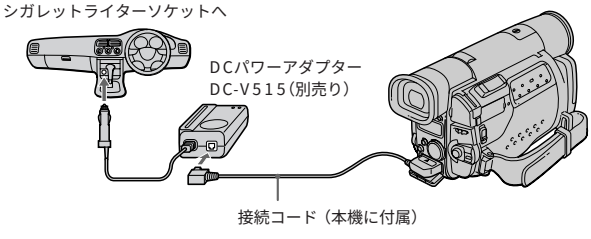
本体内充電をしたときの充電時間（別売りバッテリーパックNP-F530使用時）
本体内充電
　満充電：約3時間30分
　実用充電：約2時間30分
2個同時充電
　満充電：約4時間
　実用充電：約3時間

2個同時充電のときは
本体とACまたはDCパワーアダプターの両方の充電中／CHARGEランプがつきます。充電が完了すると両方のランプが消えます（実用充電）。どちらかが点灯していたら両方とも実用充電が完了していません。

コンセントにつないで使う

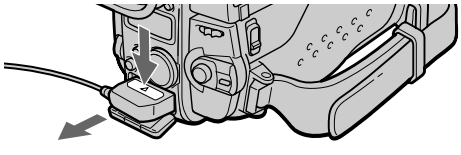


自動車電源につないで使う



接続コードを取りはずす

接続プラグのボタンを押しながら抜く。



上の接続をしてバッテリーの充電をする－本体内充電

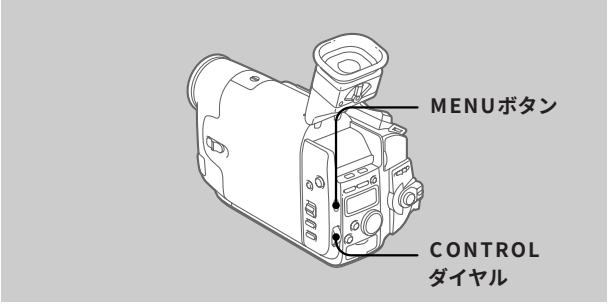
1 上の接続をし、本体にバッテリーを入れる。

2 電源スイッチを「OFF」にする。
本体のCHARGEランプが点灯し、本体内のバッテリーを充電します。充電されるとCHARGEランプが消えます（実用充電）。このときACまたはDCパワーアダプターにバッテリーを取り付けておくと2個同時に充電します。

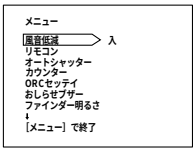
各種の設定を変える – メニュー

ご注意

電源スイッチが「VTR」のときと「CAMERA」のときでは、メニュー内容が異なります。

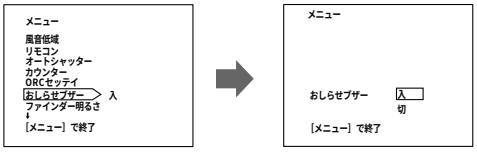


❶ MENUボタンを押す。

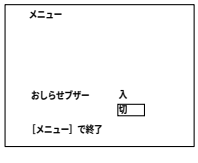


❷ CONTROLダイヤルを回して希望の項目を選び、CONTROLダイヤルを押す。

希望の項目だけが表示されます。



❸ CONTROLダイヤルを回して設定を切り換え、CONTROLダイヤルを押す。



❹ 必要なだけ手順2、3を繰り返す。

メニュー画面を消す

MENUボタンを押す。

次のページへつづく

各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

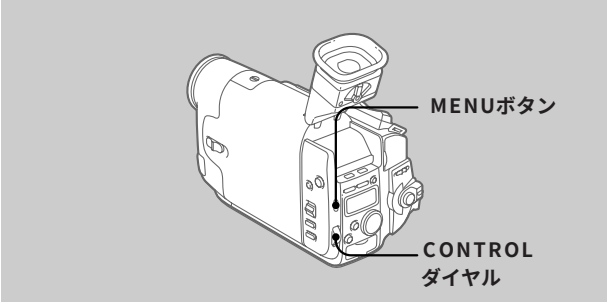
	項目	設定	意味	どんなとき
電源スイッチが「VTR」または「CAMERA」のとき	**リモコン**	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く	通常はこの位置へ
		切	リモコンが働かない	他機のリモコンによって誤動作するときなど
	カウンター	●ノーマル	通常のカウンターを表示	撮影時はこの位置へ
		タイムコード	1コマ1コマの映像に対応したテープの位置をカウンターとして表示（RCタイムコード、39ページ）	より正確な編集をしたいとき。
	おしらせブザー	●入	撮影スタート／ストップ時や誤った操作をしたときにブザーが鳴る	通常はこの位置へ
		切	ブザー音が鳴らない。	ブザー音を消したいとき
	ファインダー明るさ		ファインダーの明るさを調節	→詳しくは46ページ
	ファインダー	●パワーセーブ入	ファインダーから顔を離すと、自動的にファインダーの画像が消える	通常はこの位置へ
		パワーセーブ切	ファインダーから顔を離しても、ファインダーの画像が消えない。	常にファインダーに画像を出したいとき
電源スイッチが「VTR」のとき	**エディット**	●切	ー	通常は必ずこの位置へ
		入	編集時の画質劣化を低減	ダビング・編集で本機を再生機として使うとき
	バイリンガル	●切	ステレオ音声または主＋副音声で再生	→詳しくは49ページ
		メイン	モノラル音声または主音声で再生	→詳しくは49ページ
		サブ	副音声で再生	→詳しくは49ページ
	TBC	●入	再生時の画面のゆれを補正	通常はこの位置へ
		切	ー	画面が乱れるとき（補正をやめると直ることがあります）
	DNR	●入	再生画の色ノイズを軽減	通常はこの位置へ
		切	ー	色残像が出て気になるとき

	項目	設定	意味	どんなとき
電源スイッチが「CAMERA」のとき	**風音低減**	●切	ー	通常はこの位置へ
		入	「ボコボコ」という風音 (低音) を低減	風がある場所で撮影するとき
	オートシャッター	●入	オートシャッター機能を働かせる	通常はこの位置へ →詳しくは62ページ
		切	オートシャッター機能を働かせない	→詳しくは62ページ
	録画ランプ	●入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯	通常はこの位置へ
		切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる	被写体に撮影していることを意識させたくないとき
	日時あわせ		ー	時計を合わせ直すとき →詳しくは47ページ
	ORCセッテイ		テープの種類や状態に合わせて最適な状態で録画できるようにする	→詳しくは31ページ

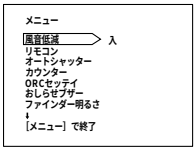
電源をはずして5分以上たつと
以下のメニュー項目はお買い上げ時の設定に戻ります。
「風音低減」、「リモコン」、
「エディット」、
「バイリンガル」
その他のメニュー項目では電源をはずしても設定を保持しています。

被写体に接近して撮るとき
録画ランプが「入」になっていると録画ランプの赤色が被写体に反射して映ることがあります。その場合、録画ランプを「切」にすることをおすすめします。

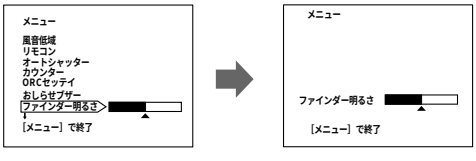
ファインダーの明るさを調節する



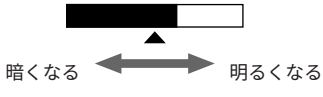
❶ [撮影スタンバイ中] に、**MENUボタンを押してメニュー画面を出す。**



❷ **CONTROLダイヤルを回して「ファインダー明るさ」を選び、CONTROLダイヤルを押す。**



❸ **CONTROLダイヤルを回し、明るさを調節して、CONTROLダイヤルを押す。**



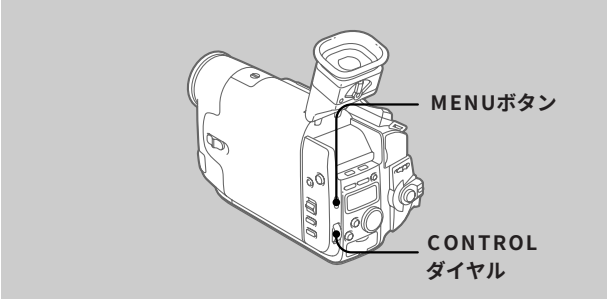
❹ **MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。**

日付・時刻を合わせ直す

お買い上げ時にあらかじめ日付・時刻は設定されていますが、1年近く使わなかったときなどに内蔵の充電式ボタン電池が放電して日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください。（51ページ）

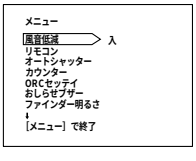
いつ使う?
- 海外に行くとき
- しばらく使わずにいて時計が合っていないとき

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

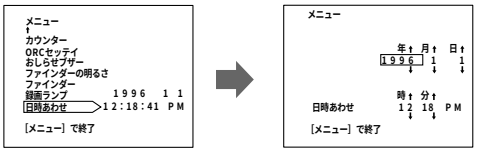


年→月→日→時→分の順で合わせます。

❶ [撮影スタンバイ中] に、**MENUボタンを押してメニュー画面を出す。**



❷ **CONTROLダイヤルを回して「日時あわせ」を選び、CONTROLダイヤルを押す。**



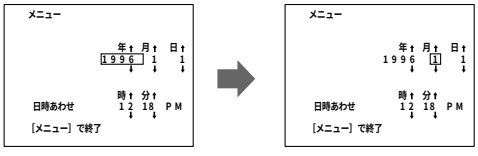
次のページへつづく

❸ 「年」を合わせる。

CONTROLダイヤルを回して「年」を選び、CONTROLダイヤルを押す。

年表示は次のように変わる。

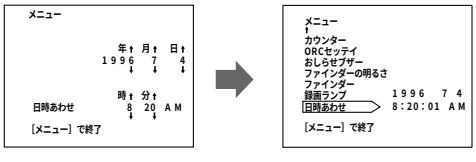
→ 1996 → 1997 →..... 2000 ..... → 2029 ←



❹ 手順3と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。

❺ 「分」と「秒」を合わせる。

「分」を合わせて時報と同時にCONTROLダイヤルを押す。時計が動き始める。



❻ MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

日付・時刻を確認する

DATEボタンを押すと日付が、TIMEボタンを押すと時刻が表示窓とファインダーに出る。

もう1度押すと消える。

使えるビデオカセットと記録・再生方式

記録・再生するときのテープの種類

本機ではHi8（ハイエイト）テープHi8とスタンダード8ミリテープ8が使えます。

Hi8（ハイエイト）テープ：
自動でHi8方式の録画→再生

スタンダード8ミリテープ：
自動でスタンダード方式の録画→再生

他のカメラで撮ったテープを本機で再生するときは録画方式を自動で判別します。

Hi8方式：従来のスタンダード8ミリ方式をもとに、さらに高画質、高解像度を追求するために開発されたビデオ方式です。
Hi8方式で録画すると、Hi8方式対応でないビデオでは正常に再生できません。

本機ではLPモードでの録画はできません

再生するときは、録画済みのテープがLPモードで録画されたものでもSPモードで録画されたものでも自動的に判別して再生します（LPモードはSPモードよりも画質が劣ります）。

音声多重放送テープを再生するとき

AFM Hi-Fiステレオ方式で二重音声放送を記録したテープを再生するときは、下の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください。メニューは電源スイッチを「ビデオ」にして出します（43ページ）。

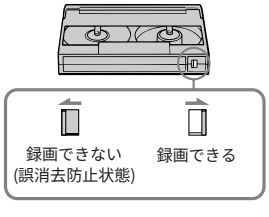
メニューの「バイリンガル」の設定	テレビのスピーカーから聞こえる音声	
	ステレオ放送を記録したテープ	二重音声放送を記録したテープ
「切」	ステレオ音声	主音声＋副音声
「メイン」	モノラル音声	主音声
「サブ」	不自然な音声になります	副音声

本機では二重音声放送は記録できません。

ご注意

・ 次の場合、音声はモノラルです。
ミ 本機のAFM Hi-Fiステレオ方式で記録したテープをモノラル方式の8ミリビデオで再生する場合。
ミ モノラル方式の8ミリビデオで記録したテープを本機で再生する場合。

間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらして「赤」にします。

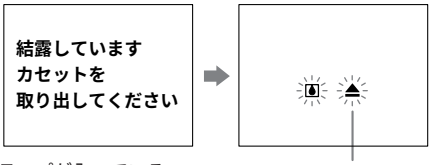


お手入れについて

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、ファインダーに下のように警告表示が出ます。（表示窓にはマークだけが出ます。）ただし、レンズの結露では表示は出ません。

ファインダー



テープが入っているときに点滅

テープが入っているときに点滅

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取り出し以外できません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてテープ走行ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

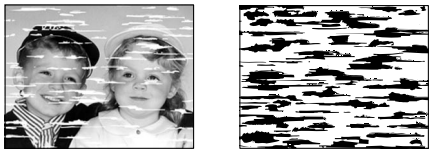
ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。

次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25LCHを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 表示窓に「ヘッドガ　ヨゴレテイマス。クリーニングカセットヲ　ツカッテクダサイ。」の表示が出てから、⊗が点滅する。
- 再生画面がザラついている。
- 再生画面が不鮮明。
- 再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像



初期 → 末期

このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1年近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合も、正しい日時は記録できませんが本機を使うことはできます。

充電方法

本機を別売りのACパワーアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「OFF」にして24時間以上放置する。

本機を廃棄するときは

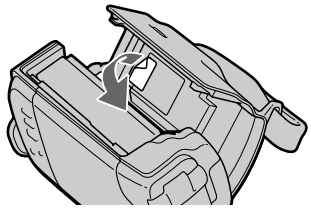
環境保護のため充電式ボタン電池を取りはずし、適宜処理してください。

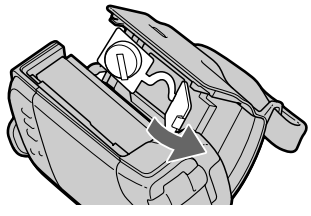
充電式ボタン電池は、カセット入れの内部にあります。

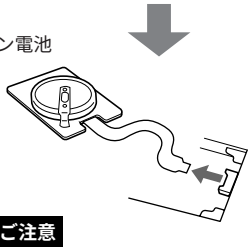
1 ラベルをはがす。

2 カバーをはずす。

3 充電式ボタン電池を取りはずす。







ご注意

- 充電式ボタン電池のカバーは、捨てるとき以外は絶対にはずさないでください。本機が使えなくなります。
- 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因となります。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、ソニーのサービス窓口、お客様ご相談センター、またはCCD-TR555テクニカルインフォメーションセンター（保証期間中のみ）にお問い合わせください。ビューファインダーや表示窓に見慣れない表示が出たときは、64ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
START/STOP ボタンを押しても テープが走行しない	・電源スイッチが「CAMERA」になっていない。	・「CAMERA」にする。	12
	・テープが終わりになっている。	・巻き戻すか、新しいテープを入れる。	10,18
	・カセットが誤消去防止状態になっている。	・そのテープで撮るなら赤いツマミを元に戻す。または新しいテープを入れる。	49
	・テープがヘッドドラムに貼りついている (結露)。	・カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	50
	・START/STOP MODEスイッチが ⊥ になっている。	・ ⊥ にする。	14
電源が途中で切れる	撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	電源スイッチを一度「OFF」にしてから、「CAMERA」にする。	12
オートフォーカスが働かない	手動フォーカスになっている。	手動フォーカスを解除する。	26
表示窓に⊗が点滅している	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	50
ファインダーの画像がはっきりしない	視度調節が正しくない。	視度調節する。	11
ファインダーの画像が消えている	メニューの「ファインダー」が「パワーセーブ入」になっていると、バッテリーの消耗を防ぐため、ファインダーから顔を離すと自動的に消えます。	・顔をファインダーに約1cmまで近づける。 ・自動的に消えないようにしたいときは、メニューの「ファインダー」を「パワーセーブ切」にする。	13 43
メニューの「ファインダー」を「パワーセーブ入」にしているときに、顔を離してもファインダーの画像が消えない	太陽光や白熱灯の影響で消えないことがあります。故障ではありません。	—	—

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
テープ走行ボタンが働かない	・電源スイッチが「VTR」になっていない。	・「VTR」にする。	18
	・テープが終わりになっている。	・テープを巻き戻す。	18
明るい被写体を写すと縦に尾を引いたような画像になる	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではない。	—	—
画像がぼけたり、映らなかったりする	・メニューの「エディット」が「入」になっている。	・「切」にする。	43
	・ビデオヘッドが汚れている。	・別売りのクリーニングカセットできれいにする。	50
音声が小さいまたは聞こえない	・メニューの「バイリンガル」を「サブ」にしてステレオで記録されたテープを再生している。	・「バイリンガル」を「切」にする。	43
画像が上下にゆれる	・メニューの「TBC」を「入」にしてゲーム機の画像を録画したテープを再生している。	・「TBC」を「切」にする。	43
	・メニューの「TBC」を「入」にしてダビングを繰り返したなど記録状況の悪いテープを再生している。	・「TBC」を「切」にする。	43

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチをVTRまたはCAMERAにしても動作しない	・バッテリーが消耗している／入っていない／消耗が近い。	・充電されたバッテリーを入れる。	8, 9
	・ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。	・コンセントに差し込む。	42
ビューファインダーの画像が極端に暗い、または暗くて見えない	偏光サングラスをかけたまま使うと、ビューファインダーの画像が極端に暗くなり、見づらくなることがある。	—	—

次のページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
エンドサーチが働かない	・撮影後にカセットを取り出した。	—	16,19
	・カセットを入れてからEND SEARCHボタンを押すまでに、1度も撮影していない。	—	16,19
バッテリーの消耗が早い	・温度が極端に低いところで撮っている。	—	—
	・充電が不充分。	・充分に充電する。	8
	・バッテリーそのものの寿命。	・新しいバッテリーに交換する。	9
カセットが取り出せない	・電源（バッテリーやパワーアダプター）がはずれている。	・電源をきちんと接続する。	9,42
	・バッテリーが消耗している。	・充電されたバッテリーを入れる。	9
⏏や⏏が点滅し、カセットの取り出し以外できない	結露	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	50
付属のワイヤレスリモコンが働かない	・メニューの「リモコン」を「切」にしている。	・「入」にする。	43
	・リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	・障害物を取り除く。	—
	・リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。	・⊕極と⊖極を正しく入れる。	59
	・乾電池そのものの寿命。	・新しい乾電池に交換する。	59
本体内充電をした後にCHARGEランプが点滅する	故障ではありません。	—	—
電源が入っているのに操作できない	—	バッテリーまたはACパワーアダプターの接続プラグを取りはずし、約1分後再びバッテリーまたはACパワーアダプターの接続プラグを取りつけ電源を入れる。それでも操作できないときは、バッテリーふた内側のRESETボタンを先のとがったもので押す。（この操作をすると日時を含めすべての設定が解除されます。）	9,42

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

録画内容の補償はできません
万一、ビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
保証書は国内に限られています
このビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。
それでも具合の悪いときはサービスへ
お買いあげ店、また添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口、CCD-TR555テクニカルインフォメーションセンター（保証期間中のみ）にご相談ください。
保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
部品の保有期間について
当社はビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

別売りのACパワーアダプターAC-V615は、AC100V～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米、南米など	主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

（NHK文研月報による）

主な仕様

システム

録画方式	回転4ヘッドヘリカルスキャンFM方式
録音方式	回転ヘッドFM方式
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	8ミリビデオ方式のビデオカセットテープ
テープ速度	SP：約1.43 cm/秒 LP：約0.72 cm/秒（再生のみ）
録画/再生時間	SPモード：2時間 LPモード：4時間(E6/P6-120使用時)（再生のみ）
早送り、巻き戻し時間	約6分(E6/P6-120使用時)
映像素子	CCD固体映像素子
ビューファインダー	電子ビューファインダー（カラー）
レンズ	8倍ズームレンズ 焦点距離 f = 3.6〜29 mm （35 mmカメラ換算では35〜280 mm） F 1.6〜2.3 TTLオートフォーカス機構付き インナーフォーカスマクロ付き
色温度切り換え	自動追尾
最低被写体照度	7ルクス（F 1.6）
被写体照度範囲	7〜100,000ルクス
推奨被写体照度	100ルクス以上

入・出力端子

S映像端子	入力/出力自動切り換え 4ピンミニDIN（1） 輝度信号：1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負 色信号：0.286 Vp-p、75 Ω不平衡
映像/音声入出力端子	入力/出力自動切り換え 特殊ステレオミニジャック（1） 映像：75 Ω不平衡、同期負 音声：327 mV、インピーダンス47 kΩ以上
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック（ø3.5）（1）
マイク入力端子	特殊ミニジャック（1） 0.388 mV、DC 2.5 V 入力インピーダンス6.8 kΩ（ø3.5）
マルチコネクション端子	26ピンコネクター
ランク端子	ステレオミニミニジャック（ø2.5）（1）
MIC DC出力端子	特殊ミニジャック（1） DC 5 V

電源部、その他

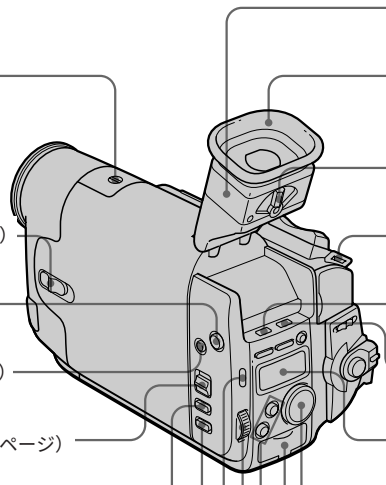
電源電圧	バッテリー挿入口入力7.2 V 26ピンコネクター8.4 V
消費電力	録画時3.7 W
動作温度	0 ℃〜＋40 ℃
保存温度	－20 ℃〜＋60 ℃
最大外形寸法	85×99×182mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約680 g （バッテリー、テープ含まず）
撮影時総質量	約820 g （バッテリーパックNP-F530、テープE6-120HME2含む）
内蔵マイクロホン	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
付属品	ワイヤレスリモコン（1） 単3型乾電池（リモコン）（2） ステップアップリング（1） MCプロテクター（1） レンズキャップ（1） アクセサリーシューアダプター（1） AV接続ケーブル（1） S映像ケーブル（1） 接続コード（1） 取扱説明書（1） 技術解説書（1） 取扱説明書（安全のために）（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

使いかたの説明は、（　）内のページにあります。

本体



このマークは、ソニーのビデオ機器関連商品の純正マークです。

純正マーク

弊社のビデオ機器をお求めの際は同じマークもしくはソニーのロゴマークがついているビデオ関連商品をおすすめします。

別売りの外部マイクを使う場合

マイク（プラグインパワー）端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。外部マイクを使っているときは風音低減機能は働きません。

次のページへつづく

各部のなまえ（つづき） 使いかたの説明は、（　）内のページにあります。

ズームレバー（14ページ）

S映像端子（17ページ）

COUNTER RESETボタン（13ページ）

TIMEボタン（28ページ）

DATEボタン（28ページ）

START/STOP MODE つまみ（14ページ）

START/STOPボタン（12ページ）

電源スイッチ（12ページ）

CHARGEランプ（42ページ）

DATE SEARCHボタン（34ページ）／**テープ走行ボタン**（18ページ）

LANC端子

映像/音声入出力端子（17ページ）

OPEN (BATT) つまみ（9ページ）

ショルダーベルト取付部

ヘッドホン端子
ヘッドホンを使うときはステレオミニジャックのものをお使いください。

マイク端子（57ページ）

DC OUT端子

レンズ

録画ランプ

リモコン受光部（59ページ）

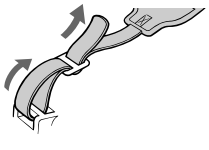
グリップベルト（4ページ）

内蔵ステレオマイク

三脚用ネジ穴（5ページ）
三脚を使うときは、ネジの長さが6.5mm以下のものをお使いください。

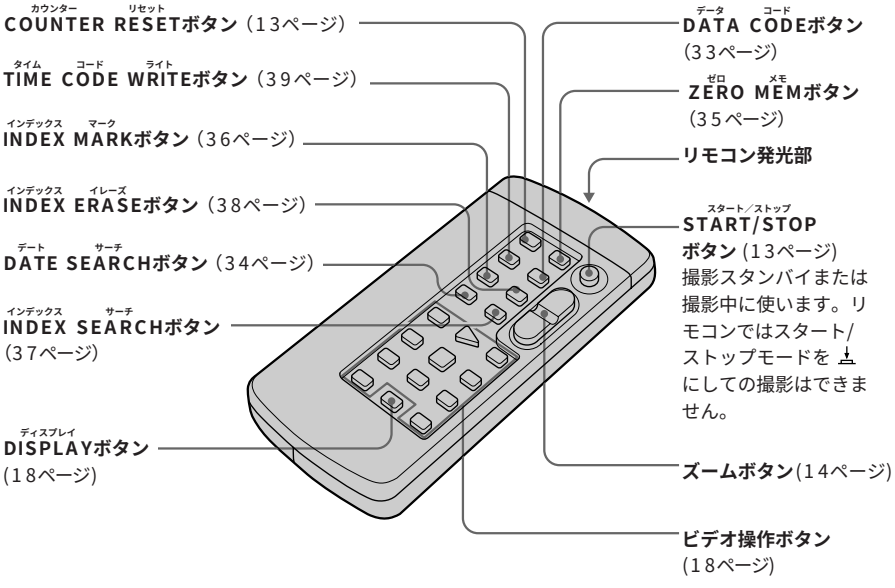
OPEN/EJECT つまみ（10ページ）

ショルダーベルト（別売り）の取り付けかた



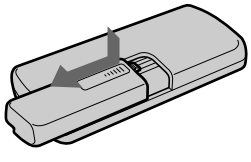
LANC（リモート）マークについて
は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

ワイヤレスリモコン

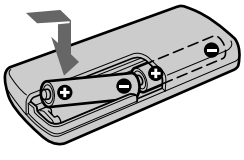


電池の入れかた

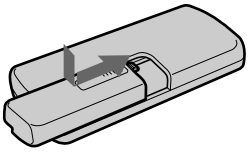
❶ 押しながらずらす。



❷ 入れる。



❸ もとに戻す。

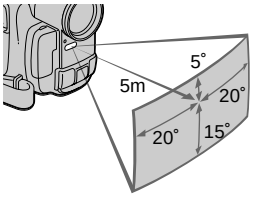


リモコンについて

・本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

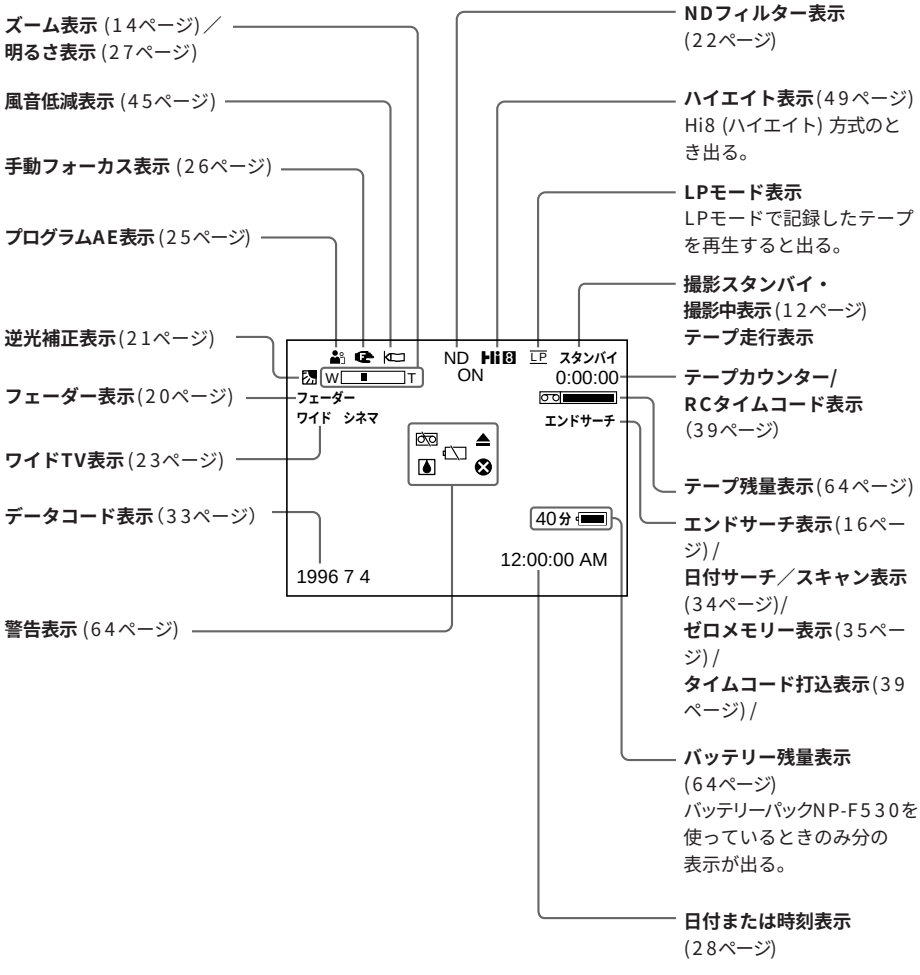
・付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

リモコンの操作範囲

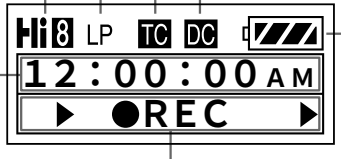


操作範囲は室内で使用したときの値です。

ビューファインダーの表示



表示窓の表示



LPモード表示
LPモードで記録したテープを再生すると出る。

ハイエイト表示(49ページ)
Hi8 (ハイエイト) 方式のとき出る。

テープカウンター(13ページ)
日付または時刻表示(28ページ)
データコード表示(33ページ)
RCタイムコード表示(39ページ)

撮影スタンバイ・撮影中表示(12ページ)
テープ走行表示
プログラムAEモード表示(24ページ)
ORC表示(31ページ)

RCタイムコード表示
(39ページ)

データコード表示(33ページ)

バッテリー残量表示
(64ページ)

次のページへつづく

用語解説

ア行

オートシャッター …45ページ
電子シャッターのシャッタースピードを明るさに応じて変化させ、光量を自動調節する機能。NDフィルターを使わずに明るすぎる場面を撮影したときに生じる、光学的なぼけを防ぐのに役立つ。

カ行

逆光補正 …21ページ
逆光で被写体が黒っぽく映るのを防ぐ機能。本機は画面全体で明るさをいつも一定の量に保つ働きがある。逆光で撮影するときにもこの一定の「量」を保とうとして、被写体が暗めになる。逆光補正の機能を使うと、この「量」が多くなり被写体を明るめに自動調節する。

サ行

撮影スタンバイ …12ページ
「撮影を待機する・準備する」という意味。電源スイッチを「CAMERA」にし、撮影一時停止で次の撮影を待機している状態。

自動ピント合わせ …26ページ
自動ピント合わせは、横方向に走査する映像信号からピントを検出します。そのため、被写体が横じまだけのものや背景とのコントラストの低いものは、自動でピントが合いにくいことがあります。

タ行

タイムコード …RCタイムコードのこと

データコード …33ページ
テープを録画した日付（年・月・日）と時刻（時・分・秒）をテープに記録する機能。再生時、必要に応じて画面上に表示できる。後から撮影日時の確認をする場合などに使える。

ナ行

ノイズ …19ページ
静止画やピクチャーサーチの画像などに出る、横すじ状の線や画像の乱れ。

ハ行

プログラムAE（エーイー） …24ページ
被写体や撮影状況により適した撮影を可能にする機能。本機には6種類のモードがある。
シャッタースピードやアイリス（絞り）をモードにより自動で調節する。

ヘッド …50ページ
映像や音声信号をテープに記録したり、テープに記録されている信号を読み取ったりする本機の心臓部分。使っているうちに汚れて、きれいに再生できなくなったときは、クリーニングカセットを使ってきれいにする。

ラ行

リモコンモード …59ページ
リモコン信号の種類。ソニー製ビデオ機器間でのリモコンによる誤動作を防ぐために、VTR1・VTR2・VTR3・VTR4の4種類がある。本機はVTR2。編集時は、他のソニー製ビデオデッキをVTR1とVTR3、VTR4のどれかに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

ワ行

ワイドTVモード …23ページ
再生したときにワイド画面（横:縦＝16:9）になるように撮影するときの設定。ワイドシネマ、ワイドフルの2種類がある。
ワイドシネマ
横縦比4:3の画像の上下に黒い帯を入れて横縦比を16:9にしてテープに記録する。映る範囲は狭くなるがふつうのテレビで再生したときに横縦比16:9で再生される。
ワイドフル
横縦比16:9のワイドテレビで再生したときに画面いっぱいに映るように画像を縦長に圧縮して記録する。横縦比4:3のふつうのテレビで再生すると縦長に押しつぶされた映像になる。

アルファベット順

AFM Hi-Fiステレオ（エーエムエフハイファイ） …49ページ
スタンダード方式8ミリビデオでAFM Hi-Fiモノラル方式である標準音声トラックをステレオ化したもの。臨場感にあふれ、立体感のある明瞭度の高いステレオ音声。

DNR（ディーエヌアール） …44ページ
Digital（デジタル） Noise（ノイズ） Reduction（リダクション）の略。フィールドメモリーを利用して前後の映像信号を合成してノイズを削減する機能。再生時の色信号とカメラ録画時のノイズの削減に大いに役立つ。

ID-1方式（アイディーワン） …23ページ
ビデオ信号の一部にデジタルのID記号を加算することにより画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名称。

NDフィルター（エヌディー） …22ページ
アイリスやシャッタースピードを調節することなしに光量を減らすためのフィルター。本機のNDフィルターは内蔵式で、スイッチで入／切する。

NTSC方式（エヌティーエスシー） …55ページ
日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録されたテープは、ヨーロッパなどで使われているPAL（パル）やSECAM（セカム）方式のビデオでは再生できない。
海外で本機を使うときは、ご注意ください。

ORC（オーアールシー） …31ページ
テープやヘッドの状態を自動的に判断して、最適な画質で録画する機能。一度設定すればテープを出さないかぎり設定は保持される。

RCタイムコード（アールシー） …39ページ
RCタイムコードとはRewritable（リライタブル） Consumer（コンスーマー） タイムコードの略。1コマ1コマの映像に対応したテープの位置を、時・分・秒・フレーム単位の連続した番号でテープに記録する機能。カウンター映像とカウンター数値が一致しているので、正確なカウンターとして使える。
RCタイムコードは、ビデオ民生用製品独自の8ミリタイムコードで、業務用ビデオの8ミリタイムコードとの互換性はない。

S映像端子（エス） …17ページ
映像信号を構成する色信号と輝度（白黒）信号を分離して、より鮮明な映像を再現する端子。Hi8（ハイエイト）方式に適している。本機を記録機として使う場合には映像端子よりもS映像端子を優先的に選ぶ。

TBC（ティービーシー） …44ページ
Time（タイム） Base（ベース） Corrector（コレクター）の略。メカニズムのトルク変動によって発生する映像信号の時間軸誤差ージッター（画像の微妙な横ユレ）を、デジタル技術を用いて、正しく補正させる機能。他のビデオデッキやビデオカメラレコーダーで記録したテープを再生するときに、大いに役立つ。

警告表示とお知らせメッセージ

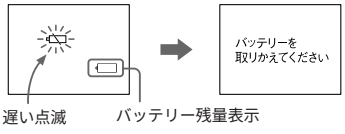
表示窓とビューファインダーには、次のような表示が出ます。詳しい説明は、(　) 内のページにあります。
♪はおしらせブザー音の鳴るものです。

バッテリー残量

表示窓

バ゛ッテリー　ヲ
トリカエテクダ゛サイ

ファインダー



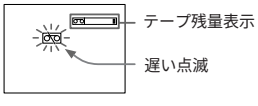
バッテリー残量表示について

インフォリチウムバッテリーNP-F530をお使いのときは分表示も出ます。＊

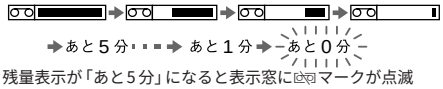
残量表示が▭になると表示窓に▭マークが点滅する。
インフォリチウムバッテリーNP-F530をお使いのときは残量時間が5分〜10分あっても環境によっては▭マークが点滅する場合があります。
＊残量時間は使用状況や環境により正しく表示されない場合があります。

テープ残量

ファインダー



テープ残量表示について

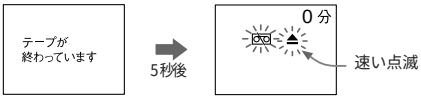


残量表示が「あと5分」になると表示窓に▭マークが点滅する。

♪テープの終わり

表示窓

ファインダー



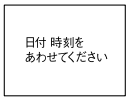
日付・時刻の未設定(47ページ)

日付、時刻を設定してもこのメッセージが出る場合は、内蔵の充電式ボタン電池が放電しています。充電してください。(51ページ)

表示窓

ヒヅ゛ケ・ジ゛コク゛ヲ　アワセテ　クダ゛サイ。

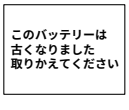
ファインダー



バッテリーの寿命

バッテリーパックNP-F530をお使いのときのみ表示が出ます。

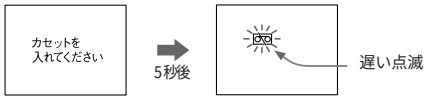
ファインダー



カセットが入っていない

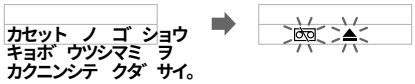
表示窓

ファインダー

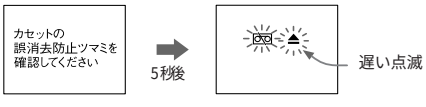


♪カセット誤消去防止（49ページ）

表示窓



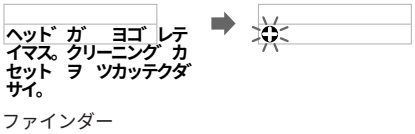
ファインダー



カセットの誤消去防止ツマミを確認する。

ヘッド汚れ（50ページ）

表示窓



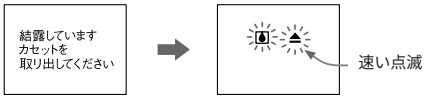
ファインダー

クリーニングカセットできれいにする。

♪結露（50ページ）

表示窓

ファインダー

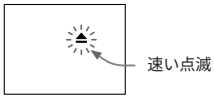


テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。

♪その他の異常

一度電源を切り、バッテリーを取りはずす。再びバッテリーを取り付け、電源を入れる。それでも表示が消えないときは、お買い上げ店か、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

ファインダー



索引

ア行

明るさ調節 27
インデックス 36
エディットサーチ ..... 16、29
エンドサーチ ..... 16、19
おしらせブザー 64
お知らせメッセージ 64
お手入れ 50
音声多重テープ 49

カ行

海外で使うとき 55
外部マイク（別売り） 57
カウンター ..... 13、60
カセットの入れかた 10
画面表示 13
カラーテレビ方式 55
逆光補正 21
記録・再生方式について 49
グリップベルト 4
警告表示 64
結露 50
広角 14
高速アクセス 19
故障かな？と思ったら 52
誤消去防止ツマミ 49

サ行

再生 18
撮影が終わったら 14
撮影する 12
サブ（音声） 44
三脚 58
実用充電 8
充電 8
充電確認マーク 8
主音声 49
手動ピント合わせ 26
ズーム 14
スタンダード8ミリ方式 49
ステレオ放送テープ 49
接続（テレビで見るとき） 17
(編集のとき) ..... 40、41
ゼロメモリー 35

タ行

タイムコード 39
使えるビデオカセットテープ 49
つなぎ撮り 16
データコード 33
テープ残量表示 64
テープの終わり表示 64
テレビで見る 18
電源（家庭用コンセント） 42
(自動車の電源) 42
(バッテリー) 8
撮る姿勢 4

ナ行

二重音声放送テープ 49

ハ行

バイリンガル 44
バッテリー残量表示 64
バッテリー 8
日付・時刻合わせ 47
日付・時刻の記録 28
フェーダー 20
フェードイン・フェードアウト 20
副音声 49
プログラムAE 24
ヘッド 50
ヘッド汚れ表示 50
編集 39
望遠 14

マ行

満充電 8
メニュー 43
メイン（音声） 44
モザイクフェーダー 20
モノラル 17

ラ行

リモコン受光部 59

ワ行

ワイドTV 23
ワイヤレスリモコン 59

アルファベット順

ACパワーアダプター ..... 8、42
AFM Hi-Fiステレオ方式 49
AV接続ケーブル 17
DNR 44
Hi8（ハイエイト）方式 49
ID-1方式 23
LANC端子 58
NDフィルター 22
NTSC方式 55
ORC 31
S映像端子 17
TBC 44

こんなときはこの機能

撮影するとき

撮影状況に合わせたい

明るい
　スキー場、真夏の海岸
　　→ ビーチ＆スキーモード（24ページ）
　舞台、結婚式
　　→ スポットライトモード（24ページ）
　白い服の人物が白い壁の前にいる
　　→ 逆光補正（21ページ）
　背後に光があり顔が暗くなる
　　→ 逆光補正（21ページ）

暗い
　夜景、夕景、花火
　　→ サンセット＆ムーンモード（24ページ）

風が強い
　→ メニュー：風音低減（43ページ）

撮りたいところが広い
　→ 風景モード（24ページ）

列車から窓の外を撮る
　→ 風景モード（24ページ）

被写体の動きが速い
　ゴルフスイングなど
　　→ スポーツレッスンモード（24ページ）

ある部分だけ取り直したい
　→ ある部分だけ取り直す（29ページ）

画像をこうしたい

画像の明るさを調節したい
　→ 明るさ調節（27ページ）

効果的な場面転換をしたい
　→ フェードイン、フェードアウト（20ページ）

被写体を引き立てたい
　→ ポートレートモード（24ページ）

意図的にピントを合わせたい
　→ 手動ピント合わせ（26ページ）

映画のように横長の画像にしたい
　→ ワイドTVモード（23ページ）

日時を記録したい
　→ 日時を記録する（28ページ）

テープの状態に合わせて録画したい
　→ メニュー：ORCセッテイ（31ページ）

再生するとき

モノラル音声、副音声で再生したい
　→ メニュー：バイリンガル（43ページ）

画面のゆれを補正したい
　→ メニュー：TBC（43ページ）

画像の色ノイズを軽減したい
　→ メニュー：DNR（43ページ）

撮影日の変わり目を探したい
　→ 日付けサーチ機能（34ページ）

見たい場面にすばやく戻したい
　→ ゼロメモリー機能（35ページ）

各場面の頭出しをしたい
　→ インデックス機能（36ページ）

撮影した日時を画面に出したい
　→ データコード（33ページ）

保証期間中の故障に関するお問い合わせは

CCD-TR555
テクニカルインフォメーションセンターへ
0120-86-4021（フリーダイヤル）

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)539-5111

ご相談になるときは次のことをお知らせください

- 型名：　CCD-TR555
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

Printed in Japan